

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-4

< 第23週 > 水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同
時期と比較してやや多い / その他最新動向



注目すべき感染症
P.5-12

インドネシア・バリ島より帰国した観光客におけるコレラの集団
発生 / 腸管出血性大腸菌感染症 / ヘルパンギーナ



病原体情報
P.13-14

エンテロウイルス71型 & コクサッキーA16型ウイルス 2005年 /
咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2005年 / ヒ
トから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年



速報
P.15-16

焼肉店を原因とした腸管出血性大腸菌O157集団食中毒事例 -
熊本市 / 山形県におけるつつが虫病の発生状況



海外感染症情報
P.17-18

インドネシアでのポリオ流行 / コンゴ共和国でのエボラ出血熱
流行 / アンゴラでのマールブルグ病流行 / インドにおける髄膜
炎菌性疾患流行



感染症の話
P.19

< 今週はお休みです >



読者のコーナー
< 今週は該当記事は
ありません >



グラフ総覧(23週)
P.20-26



23週のデータ
P.27-38



発生動向総覧

*「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(平成15年11月5日施行)により、対象疾患、分類が一部変更されました(2003年第43号「速報」参照)。

< 第23週コメント > 6月16日集計分

全数報告の感染症

注意:これは当該週に診断された報告症例の集計です。しかし、迅速に情報還元するために期日を決めて集計を行いますので、当該週に診断された症例の報告が、集計の期日以降に届くこともあります。それらについては、発生動向総覧では扱いませんが、翌週あるいはそれ以降に、巻末の表の累積数に加えられることになります。宜しく御理解下さい。

1類感染症:報告なし

2類感染症:細菌性赤痢 12例(推定感染地域:国内1例、カンボジア3例、ネパール2例、中国1例、ベトナム1例、インド1例、タイ1例、グアテマラ1例、エジプト1例)

3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症 111例(うち有症者57例)

報告の多い都道府県:大分県(46例)、長崎県(14例)

血清型・毒素型:O157 VT2(52例)、O157 VT1・VT2(23例)、O157 VT1(15例)、O26 VT1(11例)、O121 VT2(2例)、O26 VT1・VT2(1例)、O111 VT1・VT2(1例)、O128 VT1(1例)、O128 VT1・VT2(1例)、その他(4例)

年齢:10歳未満(28例)、10代(9例)、20代(24例)、30代(19例)、40代(16例)、50代(9例)、60代(3例)、70歳以上(3例)

4類感染症:つつが虫病 6例

(秋田県2例、青森県1例、福島県1例、新潟県1例、長野県1例)

デング熱 2例(推定感染地域:フィリピン1例、インドネシア1例)

日本紅斑熱 1例(鹿児島県)

レジオネラ症 4例(60代1例、70代3例)

A型肝炎 3例(推定感染地域:国内1例、インド1例、ペルー1例)

5類感染症:アメーバ赤痢 2例

推定感染地域:ともに不明

推定感染経路:ともに不明

クロイツフェルト・ヤコブ病 1例(孤発性)

後天性免疫不全症候群 17例(無症候7例、AIDS 7例、その他3例)

推定感染経路:性的接触14例(異性間6例、同性間7例、異性間/同性間1例)、性的(異性間)接触または静注薬物使用1例、不明2例

推定感染地域:国内12例、カナダ1例、ペルー1例、不明3例

梅毒 4例(早期顕症I期1例、早期顕症II期2例、晩期顕症1例)

破傷風 2例(70代1例、80代1例)

バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1例

(遺伝子型:VanA__菌検出検体:便)

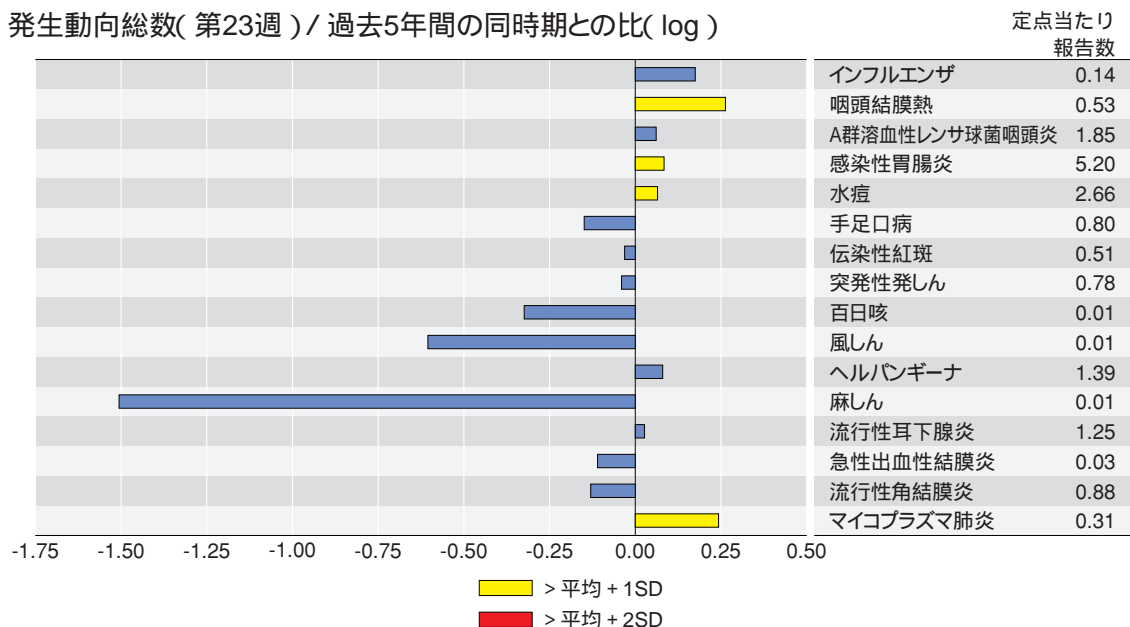
急性脳炎 3例(いずれも病原体不明(8歳、30代、60代))

(補)他に、細菌性赤痢1例、梅毒2例の報告があったが、削除予定。また、報告遅れとして、E型肝炎1例(推定感染地域:国内、推定感染経路:猪との接触)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例(70代、死亡)、髄膜炎菌性髄膜炎1例(0歳、推定感染地域:国内)の報告があった。

定点把握の対象となる5類感染症

全国の指定された医療機関(定点)から報告され、疾患により小児科定点(約3,000カ所)、インフルエンザ(小児科・内科)定点(約5,000カ所)、眼科定点(約600カ所)、基幹定点(約500カ所)に分かれています。また、定点当たり報告数は、報告数/定点医療機関数です。

発生動向総数(第23週)/過去5年間の同時期との比(log)



当該週と過去5年間の平均(過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均)の比を対数にてグラフ上に表現した。1標準偏差を超えた場合黄で、2標準偏差を超えた場合赤で色分けしている。

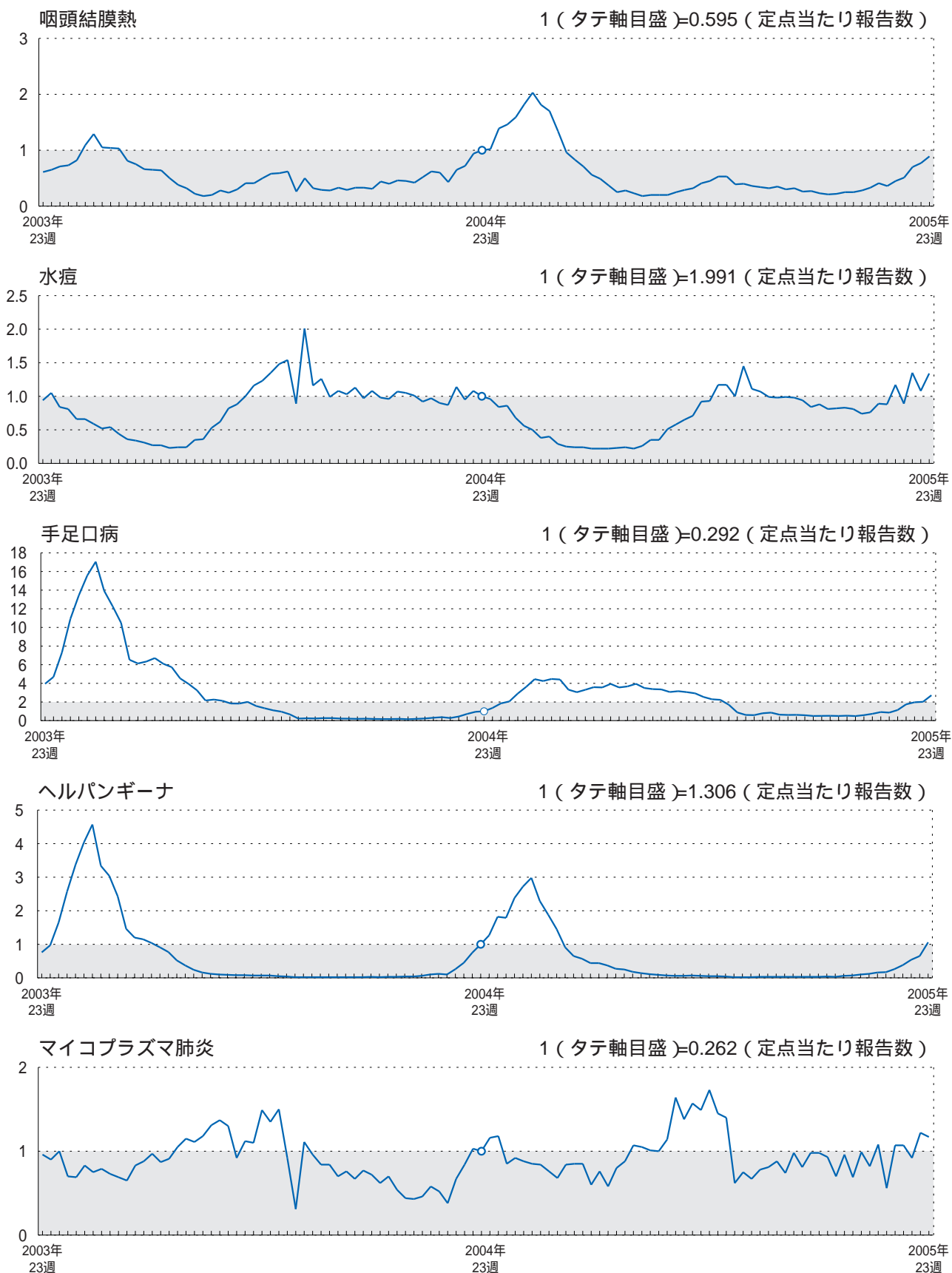
インフルエンザ定点報告疾患: 定点当たり報告数は減少した。都道府県別では沖縄県(1.79)、鳥取県(0.90)、広島県(0.66)が多い。

小児科定点報告疾患: 咽頭結膜熱の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期(前週、当該週、後週)と比較してやや多い状態が続いている。都道府県別では新潟県(1.7)、福岡県(1.1)、石川県(1.1)、秋田県(1.1)が多い。A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では山口県(3.2)、石川県(2.9)、茨城県(2.7)、福井県(2.6)、山形県(2.6)が多い。感染性胃腸炎の定点当たり報告数は2週連続して減少したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県(9.1)、大分県(8.4)、兵庫県(7.9)が多い。水痘の定点当たり報告数は増加し、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では福井県(4.6)、島根県(4.2)、富山県(4.0)、長野県(4.0)が多い。手足口病の定点当たり報告数は増加した。都道府県別では沖縄県(10.0)、広島県(3.3)、鳥取県(2.9)、熊本県(2.0)が多いが、沖縄県では高値が続いている。伝染性紅斑の定点当たり報告数は2週連続して増加した。都道府県別では福岡県(1.7)、福島県(1.2)、鹿児島県(1.1)、神奈川県(1.0)が多い。百日咳の定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では岡山県(0.06)、栃木県(0.04)、広島県(0.04)が多い。風しんの定点当たり報告数は増加した。都道府県別では滋賀県(0.06)、長野県(0.05)、埼玉県(0.03)、大阪府(0.03)、千葉県(0.03)が多い。ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、一貫して増加が続いている。都道府県別では富山県(7.6)、三重県(5.6)、岐阜県(4.2)、愛媛県(3.6)、熊本県(3.6)が多い。麻しんの定点当たり報告数は横ばいであった。都道府県別では山形県(0.13)、栃木県(0.04)、富山県(0.03)、香川県(0.03)が多い。流行性耳下腺炎の定点当たり報告数は減少した。都道府県別では福井県(3.6)、石川県(2.7)、広島県(2.3)が多い。RSウイルス感染症は、ゼロ報告を含めて29都道府県から22例の報告があり、報告数は減少した。年齢別では、1歳以下が全体の73%を占めている。

基幹定点報告疾患: マイコプラズマ肺炎の定点当たり報告数は微減したが、過去5年間の同時期と比較してやや多い。都道府県別では山口県(1.9)、石川県(1.6)、群馬県(1.3)が多い。

図. 主要疾患の過去2年間の週別定点当たり報告数の動き(第23週)

2004年第23週の定点当たり報告数を1として各週の報告数値を換算し、主要疾患の過去2年間の増減を表している。





注目すべき感染症

インドネシア・バリ島より帰国した観光客におけるコレラの集団発生

はじめに

平成17年5月19日、感染症発生動向調査システム(発生動向調査)に第19週(5月9 ~ 15日診断分)のコレラ症例が7名報告された(感染症週報2005年第19週号5ページ「注目すべき感染症」を参照)。これらの症例は全て、発病前にインドネシアに渡航していたことから、インドネシアで同一感染源に曝露されたことによる集団発生の可能性を考え、国立感染症研究所・実地疫学専門家養成コース(FETP)が個別の症例の調査を開始した。

本調査は最初、発生動向調査に報告された事項をもとに、報告を行なった自治体に電話、ファクス、電子メールなどを利用して問い合わせを行うことにより、情報を収集した。さらにその後感染症法に基づき、厚生労働省健康局結核感染症課が関係自治体に対し、FETPが作成した調査票を用いて調査を行うことを依頼した。以下にその調査結果の概要を述べ、考察を加える。

結果

平成17年では、第18週までに発生動向調査に報告のあったコレラ症例は9例であり、推定感染地域は国内4例、台湾2例、インドネシア1例、フィリピン1例、パキスタン1例であった。また、平成16年の1年間に推定感染地域が国外として報告されたコレラ65例の推定感染国は、フィリピン33例、インド21例、タイ7例、中国3例、インド/中国1例であり、インドネシアはなかった。このことから、今回のコレラ症例の集積は通常考えられる範囲を超えていると判断された。

今回の対象は第19週(5月9 ~ 15日診断分)および第20週(5月16 ~ 22日診断分)に報告されて、インドネシアを推定感染国とする8名であった。報告は5都道府県からなされ、2名が同一グループであったが、他の6名はそれぞれ別々のグループであった。性別は男性7名、女性1名で、年齢の中央値は44歳(範囲32 ~ 65歳)であった。症状は下痢7名(うち水様性下痢4名)、嘔吐2名、腎不全1名であった。また、無症状病原体保有者が1例みられた。これらの8名の発病日の時間的推移を図に示す。

8例すべてが宿泊地にバリ島クタビーチを含んでいたが、内訳はバリ島クタビーチのみが5名、バリ島クタビーチおよびジャワ島ジョグジャカルタ市の両方が3名であった。これら8名はいずれも、バリ島クタビーチでは同一ホテルに宿泊していた。一方、ジョグジャカルタ市に宿泊した3名についても、同市内では同一ホテルに宿泊していた。それ以外に、ジョグジャカルタ市内に宿泊しなかったものの、期間中、日帰りでそこを訪れた者が1名みられた。

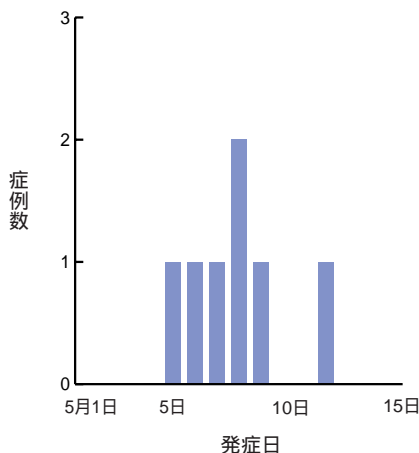


図. バリ島からの帰国者に発生したコレラ症例の発病日の時間的推移(平成17年5月1 ~ 20日、n=7、無症状病原体保有者1名を除く)

今回の症例8名のうち7名は、5月1～7日の間のいずれかの日にバリ島に宿泊しており、特に5月3～4日には7名とも宿泊していた。一方、残り1名はそれ以外の7名と宿泊期間が重なっていなかった。発病日と宿泊日との関係についてみると、症状があった7名全員が発病の3日以内にバリ島に宿泊していた。しかし、7名のうち2名は、発病の5日以内にジョグジャカルタ市にも宿泊していた。

質問票による回答の結果、コレラに感染する可能性のあるリスク行動については、生野菜を食べた者が6名、ホテルのプールで泳いだ者が5名、屋台の食べ物を食べた者が3名、氷を食べた者が3名(このうち、ミネラルウォーターで作った氷を食べた1名を含む)、果物を皮付きのまま食べた者が1名であった。医薬品服用については、H₂受容体拮抗薬、プロトンポンプ阻害薬を含め、常時服用していた者はみられなかった。

また、今回8名が日本国外の路線で使用した航空機の航空会社を調査したが、全例に共通する航空会社は認められなかった。

8症例から検出されたコレラ菌は全て *V. cholerae*、エルトル小川型で、血清型は全例がO1であった。また、全例においてコレラ毒素の産生、あるいはコレラ毒素遺伝子が確認された。

考察

平成17年第19週および20週のコレラの報告は計8例であり、通常考えられる症例数を大幅に超えていた。さらに、全てがインドネシア・バリ島へ旅行して帰国した者であった。これらのことから、特定の原因に曝露されたことによるコレラの集団発生と考えられた。

コレラの潜伏期間は通常2～3日、最長で5日間とされている。今回の8名のうちの症状のなかった1名を除き、7名全員が発病の3日以内にバリ島の同一ホテルに宿泊していることから、このホテルでの宿泊が感染源への曝露と関連している可能性が考えられる。その場合、このうちの1名は他の7名と宿泊日が全く重ならなかったことから、感染源はほんの一時的でなく、少なくともこの期間に継続していた可能性が考えられる。

今回の症例のうち3名は、ジョグジャカルタ市内のホテルに宿泊し、さらに他の1名も日帰りでジョグジャカルタ市内へ観光に行っていることから、これらについては感染源への曝露がバリ島ではなくジョグジャカルタ市内であって、同一原因による集団発生例に含められない可能性も否定はできない。しかしその可能性は、バリ島の同一ホテルでの宿泊に関連した曝露の可能性よりも低いと考えられる。

コレラに感染する可能性のあるリスク行動については、多くの症例が生野菜を食べ、プールで泳いだことから、これらの行動が感染に関与した可能性が考えられる。

なお、第21週以降、インドネシア・バリ島からの帰国者でのコレラの発生報告はないことから、集団発生は少なくとも悪化している可能性は低いと考えられる。

本調査に関して、以下のような限界を述べておく必要がある。1) 現地調査を実施していないため、質問票に加えることができたのは一般的に考えられる危険因子のみであったこと、2) 解析疫学を実施していないため、考えられる危険因子の定量的評価ができなかったこと。

今回の集団発生では症例の国内居住地が限局しておらず、各保健所においては単発例としてみなされてしまう事例であるが、広域的に見ることで、集団発生と判断できるものであった。国内でも当てはまることであるが、特に海外で感染する事例については広域的に捉える必要性を示したものであり、各自治体の協力が不可欠であることを強調する事例であった。

腸管出血性大腸菌感染症

腸管出血性大腸菌感染症はベロ毒素(Verotoxin=VT)を産生する大腸菌、すなわち腸管出血性大腸菌による腸管感染症である。大腸菌は非常に多くの血清型に分類されており、そのうちVT産生性のものは数十種類に及ぶ。わが国ではO157が最も多く、次いでO26、O111が多い。本症は感染症法の三類感染症として、患者及び無症状病原体保有者の届け出が診断した医師に義務づけられている。

2005年の報告数は第20週(53例)に50例を超えた後、第21週(56例)、第22週(68例)と徐々に増加し、第23週(111例)には100例を超えた(図1)。第23週までの累積報告数は579例(2002年646例、2003年404例、2004年588例)であり、現在までのところ、例年に比べて特に多いというわけではない。第23週に報告の多かった都道府県は大分県(46例)、長崎県(14例)で(図2)、大分県では福祉施設(菌の血清型・毒素型はO157 VT2)での集団発生がみられた。累積報告数では大分県(57例)、宮城県(41例)、大阪府(40例)、福岡県(39例)が多い。第23週に報告された111例のうち、患者(有症状者)は57例(51.4%)であった。年齢階級別(10歳毎)では0 ~ 9歳(28例)が最も多く、全体の四分の一を占めたが、特に0 ~ 4歳(21例)が多かった(図3)。また、有症状者の割合をみると0 ~ 9歳(85.7%)、10代(66.7%)が多く、20 ~ 50代では無症状者が多かった。無症状病原体保有者は、食品産業従事者の定期検便によって発見される場合もあるが、多くは探知された患者と食事を共にした者や、接触者の調査などによって発見される場合が多い。また、溶血性尿毒症症候群(HUS)が2例報告され、累積では6例となったが、年齢は4例が10歳未満(うち、3例は5歳未満)で、10代1例、70代1例であった。今年に入ってから死亡例の報告はない。

血清型・毒素型別では、第23週はO157 VT2(52例)、O157 VT1・VT2(23例)、O157 VT1(15例)、O26 VT1(11例)の順に多く、累積報告数では、O157 VT1・VT2(203例)、O157 VT2(141例)、O26 VT1(113例)の順に多かった。

本症の発生が増加する夏季に向かい、食品の取り扱いには十分注意して食中毒の予防を徹底するとともに、手洗いの励行などにより、ヒトからヒトへの二次感染を予防することが大切である。

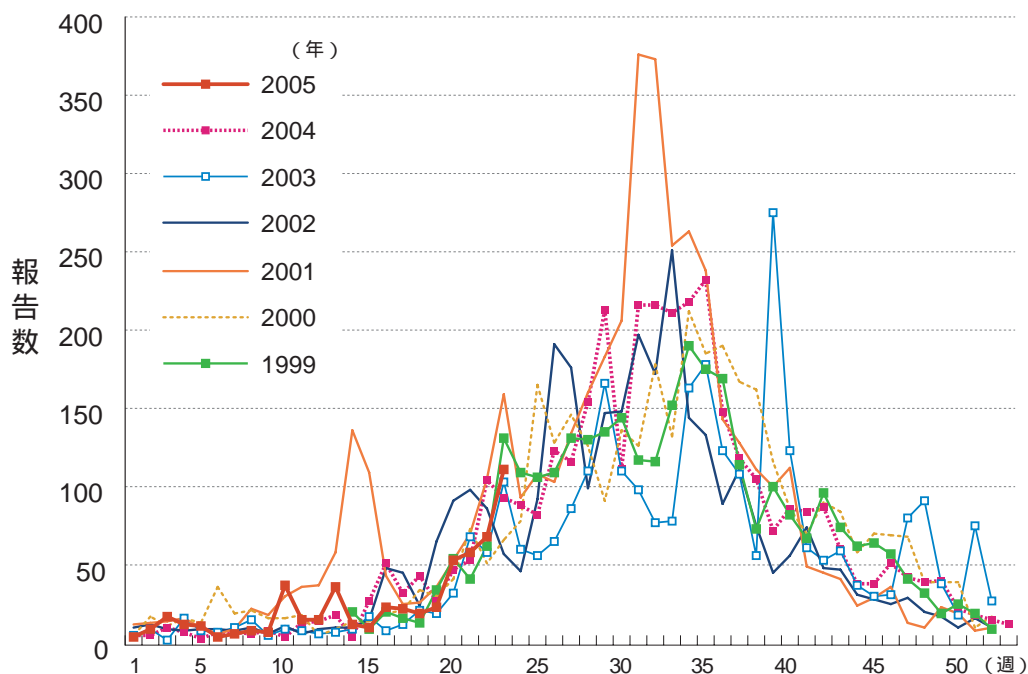


図1. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の年別・週別発生状況

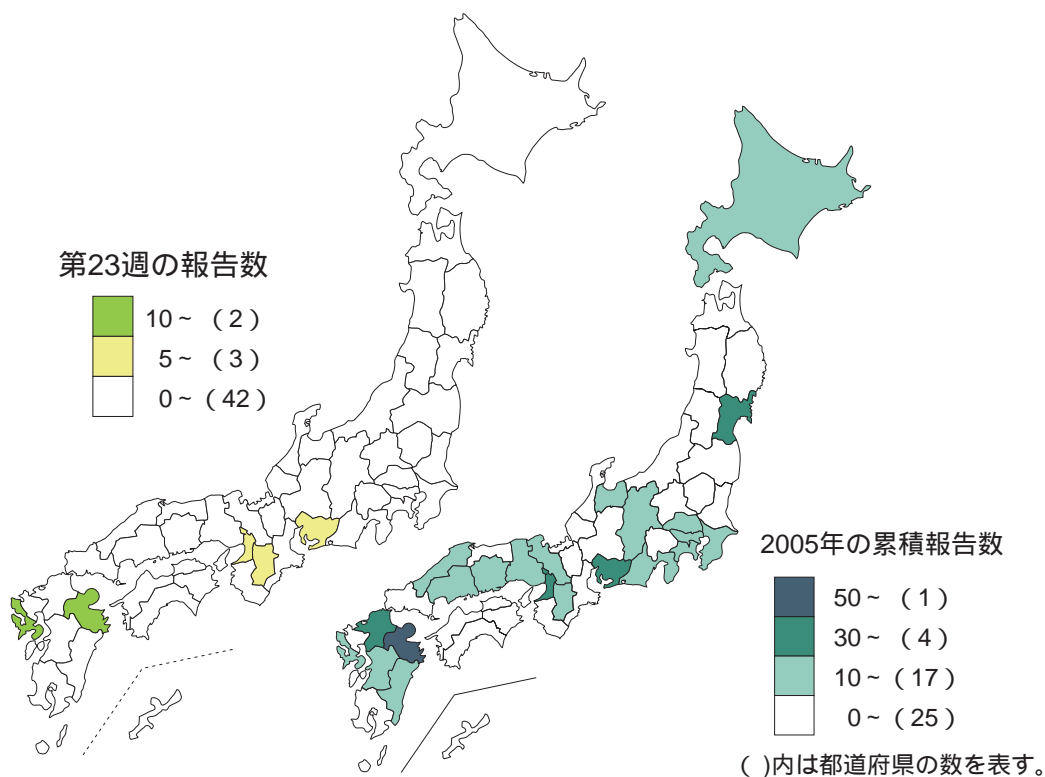


図2. 腸管出血性大腸菌感染症(無症状病原体保有者含む)の都道府県別発生状況

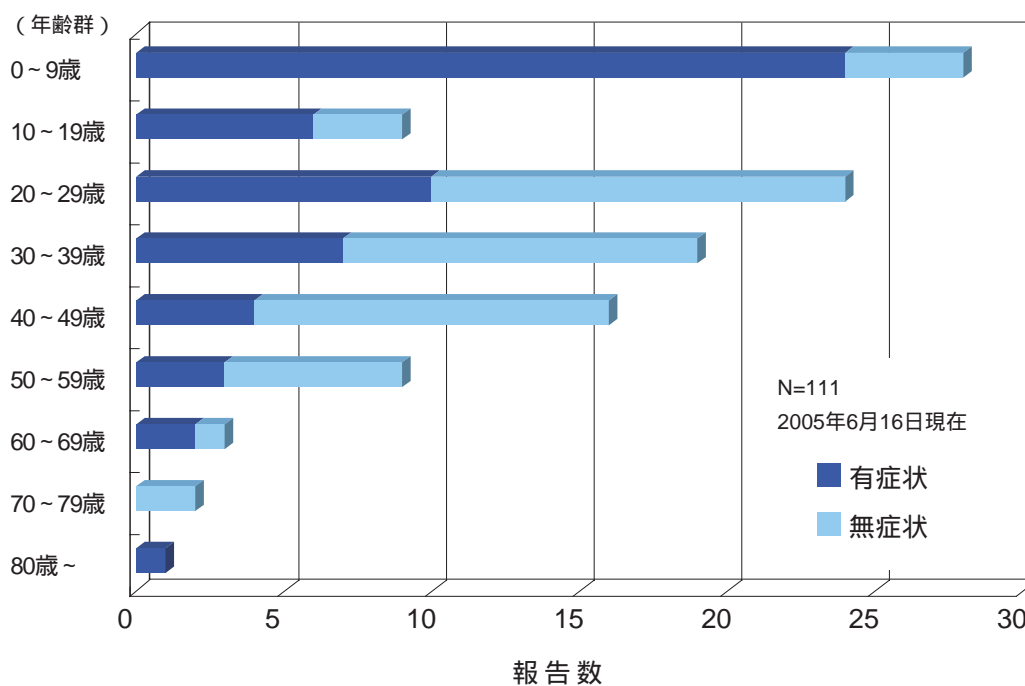


図3. 腸管出血性大腸菌感染症の年齢群別・症状別報告数(2005年第23週)

ヘルパンギーナ

ヘルパンギーナ(Herpangina)は、発熱、口腔粘膜に現れる水疱性の発疹を特徴とした急性ウイルス感染症であり、幼児を中心に夏季に流行する疾患である(図1、図2)。病原ウイルスは主にA群コクサッキーウイルス(CA2、CA4、CA5、CA6、CA8、CA10など)であるが、まれにB群コクサッキーウイルス、エコーウイルスもみられる。過去5年間のヘルパンギーナ症例におけるウイルスの分離状況をみると、CA4、CA10、CA2、CA6が比較的多いが、CA4以外は年によって分離数が大きく異なっている(図3)。

感染から2～4日の潜伏期間の後に、突然の発熱に続いて咽頭痛が出現し、咽頭発赤とともに、主として軟口蓋から口蓋弓にかけて直径1～2mm、大きいものでは5mmほどの紅暈で囲まれた小水疱が出現する。やがて小水疱は破れて浅い潰瘍となる。発熱は2～4日間程度で解熱し、やや遅れて粘膜疹も消失する。殆どは予後良好の疾患であるが、エンテロウイルス感染症の特徴として、まれに無菌性髄膜炎や急性心筋炎を合併することがある。したがって、発熱以外に頭痛、嘔吐などの症状や、心不全徴候の出現には十分に注意すべきである。

感染経路は咳、くしゃみなどによる飛沫感染、糞口感染、さらには、ウイルスの付着した患者や物品に接触することによる接触感染である。患者からのウイルスの排泄は急性期に最も多いが、エンテロウイルス感染の特徴として、回復後にも2～4週間の長期にわたって便からウイルスが検出されるので、急性期のみでの登園、登校停止によっては、厳密な意味での流行阻止効果は期待できない。しかしながら、本症の大部分は予後良好な軽症疾患であり、登園・登校については手足口病と同様、流行阻止の目的というよりも患者本人の状態によって判断を行う方が現実的である。保育施設や幼稚園などの乳幼児の集団生活施設における感染予防としては、児やスタッフの手洗いの励行、排泄物の適正な処理が基本となる。

ヘルパンギーナの定点当たり報告数は第12週以降、一貫して増加を続けており、第23週現在で報告が多い都道府県は富山県(7.6)、三重県(5.6)、岐阜県(4.2)、熊本県(3.6)、愛媛県(3.6)となっている。特に上位3県である富山県、三重県、岐阜県では、第20週以降に報告数が急増してきている。2000～2004年の過去5年間の定点当たり累積報告数をみると、2004年は過去5年間では最も少ない値となっているが(図4)、2005年はこれまでのところ、例年と比べて報告数は少なくはない。1995年以降の過去10年間をみると、第28週を中心に第29週、第27週の3つの週のいずれかに報告数のピークがみられている(図1)。今後流行のピークが予想される7月中旬に向けて、さらに発症者が増加するものと予想されるため、より一層の注意が必要である。

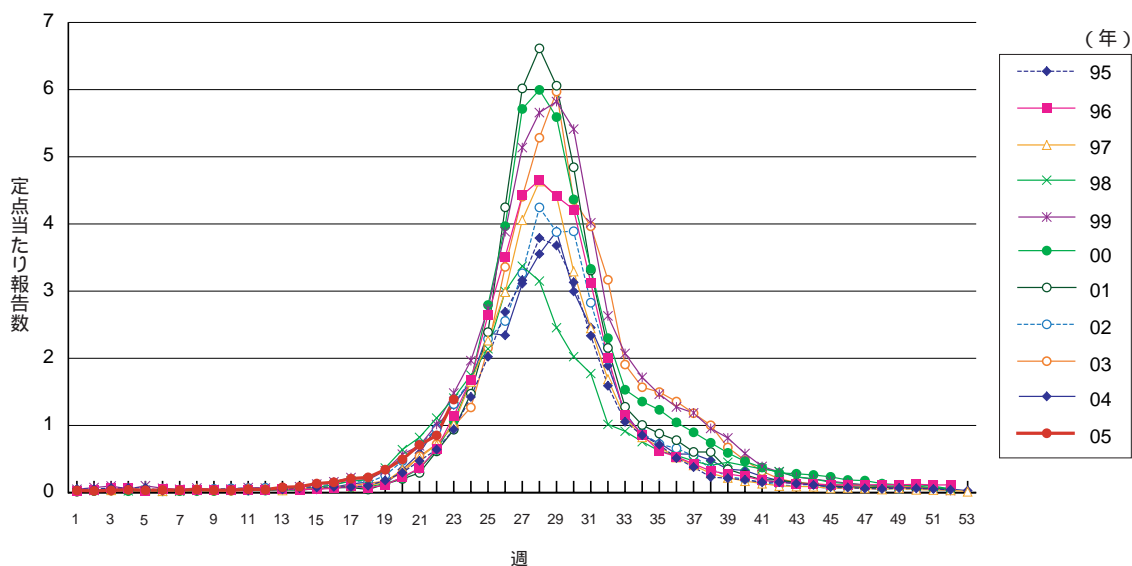


図1. ヘルパンギーナの年別・週別発生状況(1995-2005年)

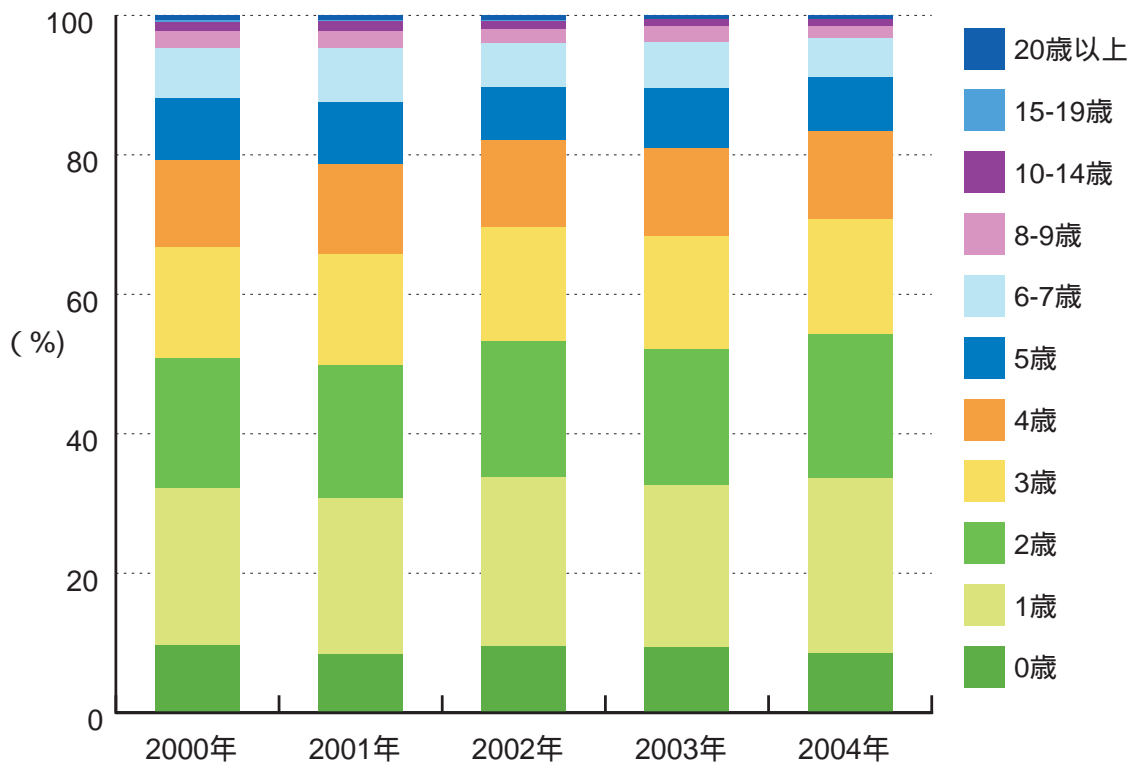


図2. ヘルパンギーナ報告症例の年別・年齢別割合(2000～2004年)

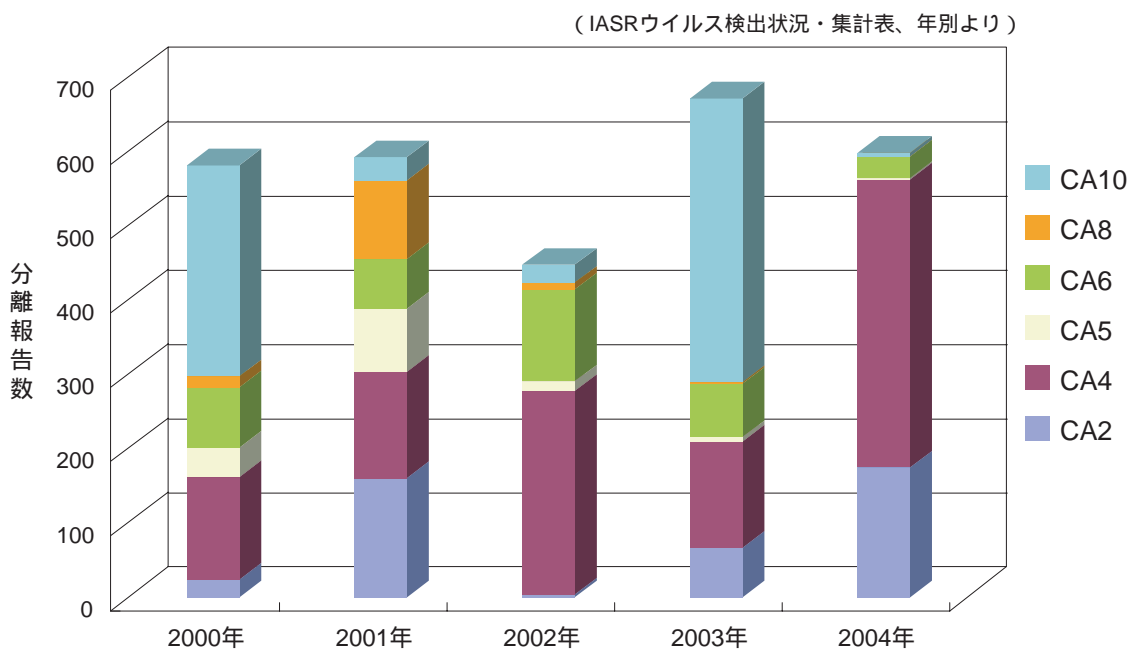


図3. ヘルパンギーナ症例からの年別ウイルス分離状況

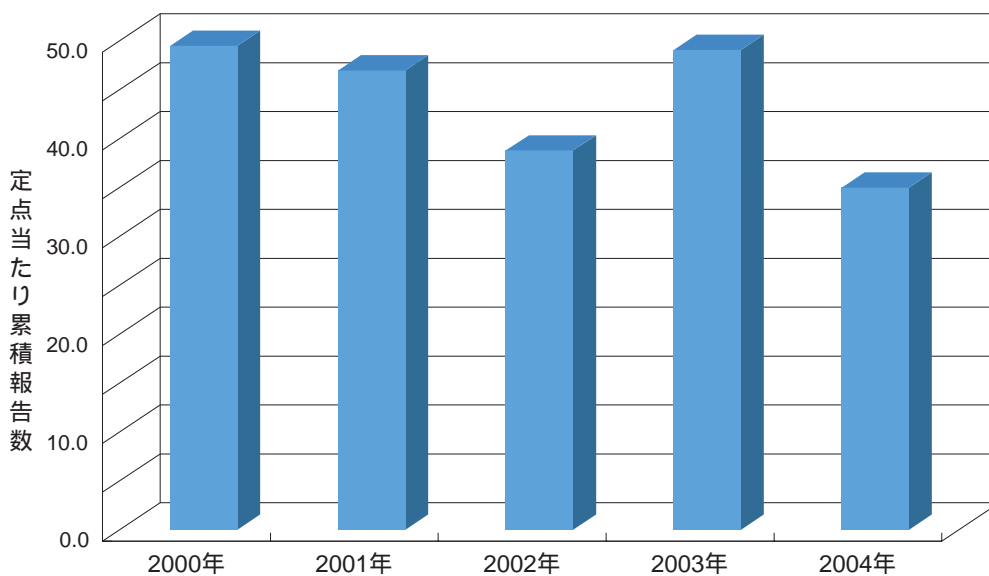


図4. ヘルパンギーナの年別定点当たり累積報告数(2000 ~ 2004年)



病原体情報

* グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.go.jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

各都道府県市の地方衛生研究所(地研)からの検出報告です。週別の報告数は、病原体が分離・検出された検体の採取日による週ごとの報告数です。地域別の報告数は、その地域に所在する地研からの総報告数を都道府県別に示しています。

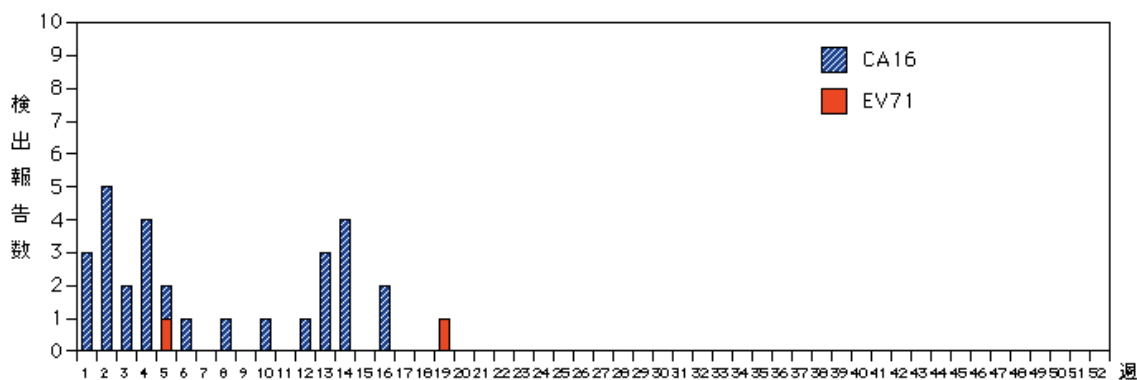
(2005年6月17日現在報告分)

エンテロウイルス71型 & コクサッキーA16型ウイルス 2005年

A群コクサッキーウイルス16型 CA16 28件が報告されている。このうち25件は手足口病患者、1件はヘルパンギーナ患者から検出されている。川崎市では2~3月に手足口病の小流行がみられ、第12~13週にCA16が検出されている(第22週号速報記事参照)。一方、エンテロウイルス71型(EV71)は第5週に北海道で手足口病患者から1件、第19週に東京都で髄膜炎患者から1件の検出が報告されている。

週別エンテロウイルス71型&コクサッキーA16型分離報告数、2005年

(病原微生物検出情報：2005年6月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

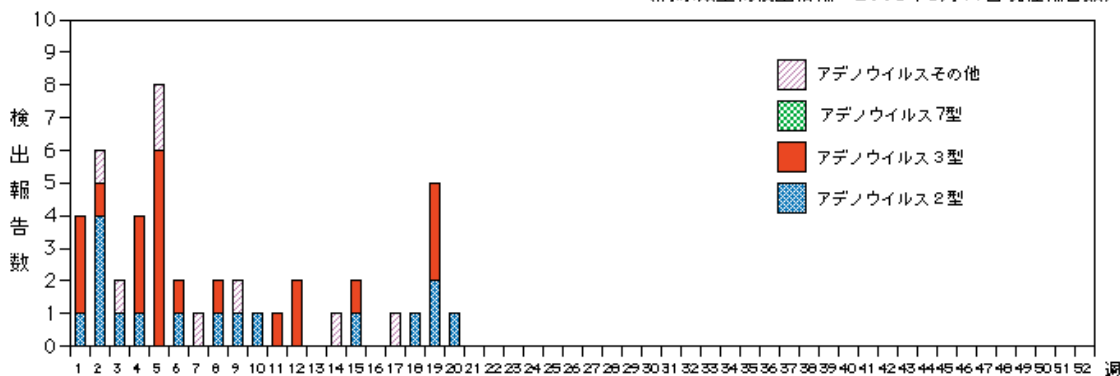


咽頭結膜熱患者から検出されているアデノウイルス 2005年

アデノウイルス3型(Ad3)が23件、Ad2が16件、Ad1が5件、Ad5が3件報告されている。Ad3は第19週に新潟県、愛知県、大阪府で各1件、Ad2は第19週に長野県で2件、第21週に大阪府で1件検出されている。

週別咽頭結膜熱患者からのアデノウイルス分離報告数、2005年

(病原微生物検出情報：2005年6月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。

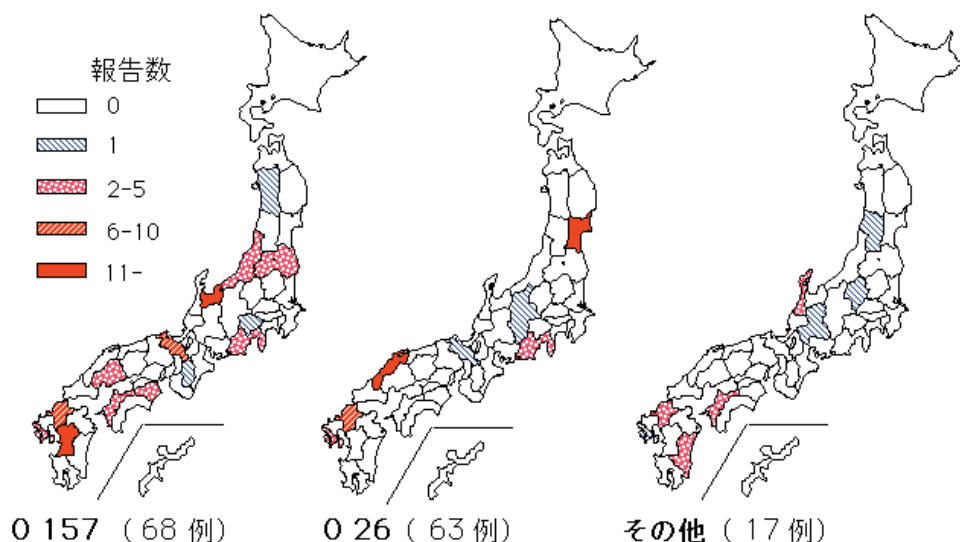


ヒトから検出されているVero毒素産生性大腸菌 2005年

2005年の検出総数は148件で、O157が68件、O26が63件、その他の血清型が17件報告されている。O157は第11～13週に熊本県(本号15ページ速報参照)、第13～14週に富山県からいずれも飲食店での集団発生事例が報告され、O26は第3週に島根県(IDWR第21週号速報記事参照)、第9～10週に宮城県(IDWR第20週号速報記事参照)から、ともに保育所での集団発生事例が報告されている。

都道府県別Vero毒素産生性大腸菌検出報告状況、2005年第1～第23週

(病原微生物検出情報：2005年6月17日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。





焼肉店を原因とした腸管出血性大腸菌O157集団食中毒事例 - 熊本市

2005(平成17)年3月、熊本市において焼肉店を原因とした腸管出血性大腸菌(EHEC) O157:H7(以下O157)の集団食中毒が発生した。患者は3月9日~12日の間に共通の焼肉店を利用した4つのグループであった。なお、今回の事例は、当市で初めてのEHECによる集団食中毒事例である。

事例1: 3月12日夜、家族3名が熊本市内の焼肉店Aを利用した。うち1名が14日朝6時より下痢・発熱などの体調異常を起こし、医療機関を受診した。便からO157が検出されたため、3月18日に市保健所へ届け出た。当研究所にてVero毒素(VT2)産生を確認した。残りの2名についても検便を実施したところ、2名からO157が検出された。

事例2: 3月9日夜、家族4名が焼肉店Aを利用した。うち2名が14日昼より腹痛などの症状を訴え、1名が医療機関を受診した。便からO157が検出されたため、3月22日に熊本市保健所へ届け出た。別の1名の有症者の検便を実施したところ、O157が検出された。無症状2名の検便の結果は陰性であった。

事例3: 3月11日夜、職場の同僚13名が焼肉店Aを利用した。うち5名が13日朝~15日にかけて、腹痛・下痢などの症状を訴えた。医療機関を受診した1名の便からO157が検出されたため、3月24日に熊本市保健所へ届け出た。接触者検便を実施した結果、残る有症者の4名中2名、および無症状者の8名中2名からO157が検出された。

事例2が届けられた時点で熊本市は、O157集団食中毒の可能性が高いとして、焼肉店Aの調査を実施した。原因究明のため当研究所に、焼肉のたれ2検体、調理場ふきとり液11検体、調理従事者の便2検体が持ち込まれた。結果、調理従事者の便1検体からO157が検出された。その他の検体についてはO157陰性であった。これらの調査により熊本市は、この焼肉店を原因とする集団食中毒と断定し、公表した。この報道を通してさらに患者1名の届出があった。この患者は3月12日に家族5名で同店を利用していた(事例4)。最終的に患者数は7名となった。

国立感染症研究所にパルスフィールド・ゲル電気泳動を依頼したところ、9株中、調理従事者からのものを含む7株が同一のパターンを示し、1株が1バンドの差、別の1株が2バンドの差であった。

患者グループの共通メニューは牛ホルモンとカルビであった。牛ホルモンは当該店では、生肉に調味液をまぶしたものを生のまま提供し、客自身が焼いて食べるものであった。また、患者発生は3月9日~12日の利用者に限られていたが、これは3月9日に仕入れた牛ホルモンの提供期間と一致した。一方、カルビについては仕入れ状況から見て、患者が同一ロットを喫食した可能性は低かった。また、感染者の中にはホルモンを食べていないにもかかわらず発症した子供もみられたが、これは、親がホルモンを焼く際に自分の箸を使い、その箸でカルビを子供に食べさせたためとも考えられた。店ではトングを用意してはあるものの、客によっては使用していないケースもあった。なお、調理従事者1名が陽性であったが、13日以降の利用者からの患者発生が無いことから、汚染源とは考えにくいと思われた。

これらより、今回の食中毒はO157に汚染された牛ホルモンの加熱不足による感染、あるいはホルモンに使用した調理器具等を介した感染と推測された。

熊本市環境総合研究所 丸住美都里 新屋拓郎* 松岡由美子 藤井幸三
熊本市保健所 植川厚子 中村 勉

(*現熊本市環境企画課)

(IASR 2005年6月号掲載記事より抜粋、詳細は同号参照)

山形県におけるつつが虫病の発生状況

山形県では医療機関からつつが虫病の検査依頼があった場合、Karp、Kato、Gilliamの標準抗原を用いて、間接免疫ペルオキシダーゼ法(IP)で抗体測定を行ってきた。1999(平成11)年からは上記3標準抗原にKawasaki、Kuroki、(Shimokoshi*)を加え、間接蛍光抗体法(IF)で抗体測定を行っている。また、PCRによる病原体遺伝子検出も実施している。

山形県における過去10年間のつつが虫病発生状況をみると、年間数人～十数人の患者発生届出があり、過去10年間で合計95人であった。発生時期は5月を中心とした春～初夏の時期に多く、10月を中心とした秋にも少しみられている。性別は男33人、女62人で女性の患者が多かった。届出は県内4地域すべてからあるが、人口比でみると患者発生に地域的な偏りが認められた。抗体価から推定される感染病原体の血清型は、Karpが69人(73%)と最も多く、次いでGilliamが15人(16%)であった。その他にShimokoshiが3人、Kawasakiが1人みられ、不明のものが7人あった。PCRは1999年以降の56人の患者[2005(平成17)年の患者2人を含む]中45人で実施し、25人(56%)から病原体遺伝子が検出され、型別のPCRではいずれもKarpであった。

2005年5月に2人の患者の検査依頼があり、検査を行ったのでその概要を報告する。

1例目の患者は70代の女性で4月26日に発病し、当初脳梗塞の再発と考えられ、治療が行われた。5月に入り、39 台の発熱、発疹、左側胸部の痲皮を認め、痙攣やDICを起こすなど全身状態の悪化があり、当所につつが虫病の検査依頼がなされた。採血は5月10日(15病日)で、既にKarpに対しIgM抗体 320倍、IgG抗体 640倍であり、つつが虫病の診断がなされた。血液を試料にPCRを行ったところ、プライマー 10、11のnested PCRで507bpのバンドが検出され、型特異的プライマーを用いた型別のnested PCRで、Karpのバンドが検出された。また、脳炎、髄膜炎の所見もあり、5月8日に採材した髄液でPCRを行ったところ、Karpのバンドが検出された。この患者は5月9日からミノサイクリンの投与が行われたため、病原体が長期間体内に生残したと考えられる。患者は4月中旬頃、住居地近辺の水田で野草の採取を行っていた。

2例目の患者は20代の男性で、4月29日に近くの町の山地にある公園にレジャーに出かけている。5月5日に発病し、38 台の発熱、全身の発疹、鼠径部リンパ節腫脹などがあったが、刺し口は認めなかった。つつが虫病が疑われて5月9日(5病日)に採血され、当所に検査依頼があった。抗体価は、KarpとKatoのIgG抗体が40倍、他はすべて20倍以下で、抗体からはつつが虫病と診断することはできなかった。しかし、PCRではnested PCRで507bpのバンド、および型別PCRでKarpのバンドが検出され、つつが虫病であることが確認された。この患者の5月16日(12病日)の血液では、Karpに対してIgM抗体 5,120倍、IgG抗体 1,280倍と明らかな上昇が認められた。

PCRによる遺伝子検出は早期診断にきわめて有効と考えられるが、本県で確認されたつつが虫病患者で、PCRが実施できた45人中、検出できたのは25人の5割強であった。DNA抽出法の改善など、検出率向上に向けた検討をする必要があると考えられる。

*Shimokoshiは抗原が無くなり、現在検査は行っていない。

山形県衛生研究所 大谷勝実 村田敏夫 最上久美子
米沢市立病院 栗村正之 松本幸夫
寒河江市立病院 見澤達夫

(IASR 2005年7月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

* 関連の情報やさらに詳しい情報については、FORTHホームページ(<http://www.forth.go.jp/>) をご覧下さい。

インドネシアでのポリオ流行

WHO/CSR 2005年6月15日 - 更新

2005年6月15日、インドネシアで新たに7名のポリオ患者が診断確定し、患者総数は46名となった。新規患者のうち2名は初発患者と同一地区(Sukabumi地区)、5名は近隣の地域(Bogor地区とLebak地区)の住民である。今回の新規患者のうち、最後の患者の発症日は5月22日であり、5月31日から6月2日に実施された予防接種モップアップキャンペーンより先前の発症である。5月31日から6月2日に、West Java州、Banten州とJakarta州でポリオ予防接種モップアップキャンペーンが実施され、年齢5歳以下の小児640万人が対象となった。2回目の接種キャンペーン(6月28日~29日実施予定)のプランニングが開始された。

詳しい情報は以下の「ポリオ根絶ウェブサイト」を参照：

< <http://www.polioeradication.org/> >

WHO/CSR 2005年6月20日 - 更新

2005年6月20日時点で、インドネシアでは新規ポリオ患者4名が確認され、累計患者数が50名となった。今回の患者のうち2名はBogor地区で、1名がCinajur地区で、さらに1名がSukabumi地区で発生した。最後の患者の麻痺発症日は2005年5月28日であり、5月31日~6月2日に実施されたポリオワクチン接種によるモップアップキャンペーン以前であった。

コンゴ共和国でのエボラ出血熱流行

WHO/CSR 2005年6月16日

2005年4月25日から6月16日にかけて、Cuvette Ouest地域のEtoumbi地区とMbomo地区で、死亡者9名を含む総数12名(検査室診断確定例1名と、疫学的関連性の明らかな11名)が報告された。最後の死亡例は5月26日に発生している。最後の死亡者と接触をもった11人につき、最長潜伏期間21日間の本日まで追跡調査を行ったが、彼らの中に感染者はみられなかった。保健省とWHOアフリカ支局は汚染地域において、感染制御強化と住民へのエボラ出血熱啓発活動を継続している。

アンゴラでのマールブルグ病流行

WHO/CSR 2005年6月17日 - 更新

2005年6月16日現在、アンゴラ保健省はUige州から総計422名の患者と、356名の死亡者を報告している。

Uige市で21名、その他の地方で111名の患者接触者の経過観察を行っている。Uige市以外の到達困難な場所における可能性ある患者についてのアラートが寄せられており、調査チームがヘリコプターでこのような患者を調査する計画が進んでいる。

インドにおける髄膜炎菌性疾患流行

WHO/CSR 2005年6月14日 - 更新

2005年6月8日現在、患者累計総数は405名であり、死亡者数は48名である(致死率11.9%)、314名が退院した。

接触歴の追跡調査、家庭内接触者の予防的抗菌薬療法、ハイリスクグループのワクチン接種などの感染制御対策が実施されている。国立感染症研究所(NICD)で血清群Aとして診断確定している。

民衆の教育、疾患の監視、ハイリスク集団のワクチン接種、患者検知後48時間以内の密接接触者における予防的抗菌薬療法などが続けられている。隣接する地区や州に対して、疑い患者を監視し、適切な公衆衛生対応をとることの必要性が伝えられている。

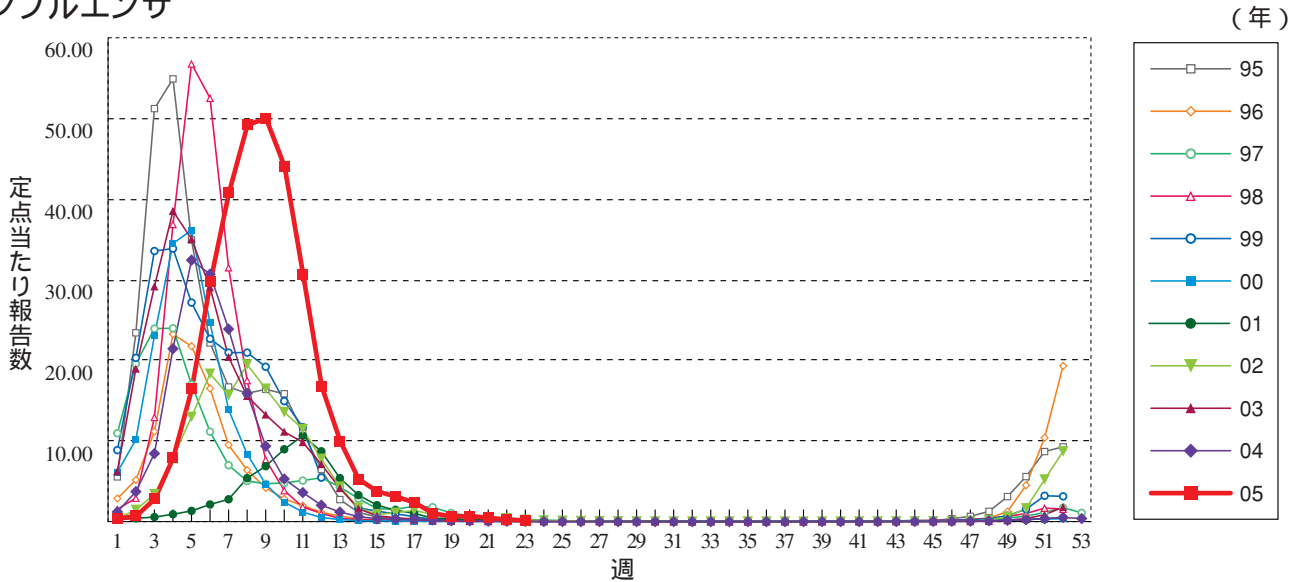


感染症の話

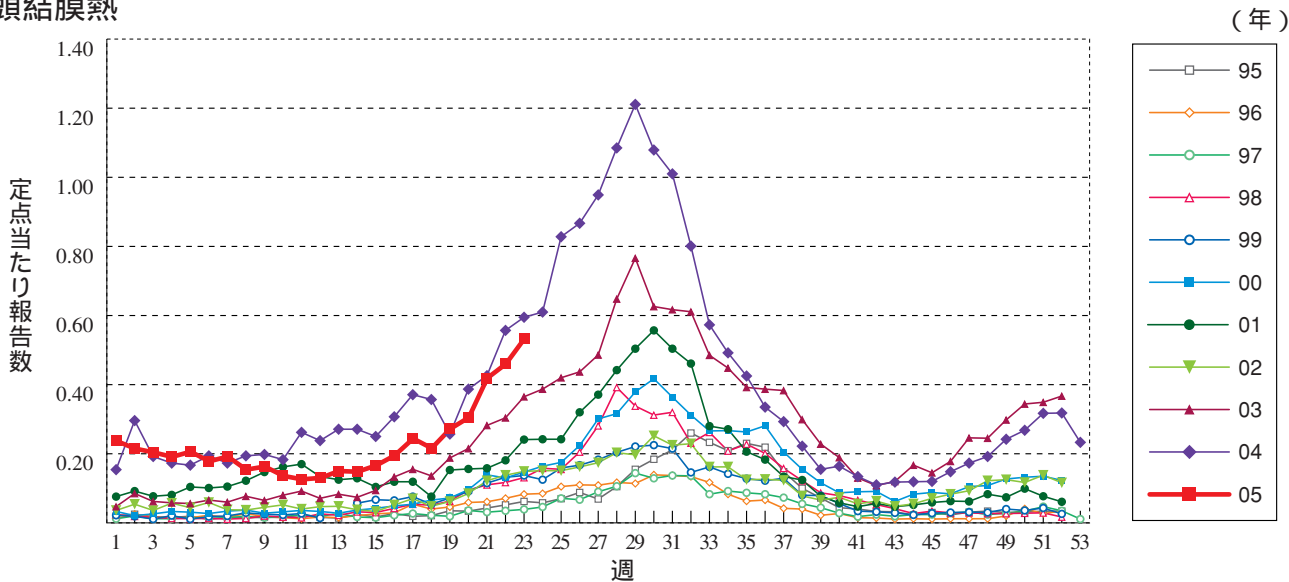
今週はお休みさせていただきます。
「感染症の話」過去の掲載分については
<http://idsc.nih.go.jp/idwr/kansen/index.html>
でご覧いただけます。

グラフ総覧(23週)

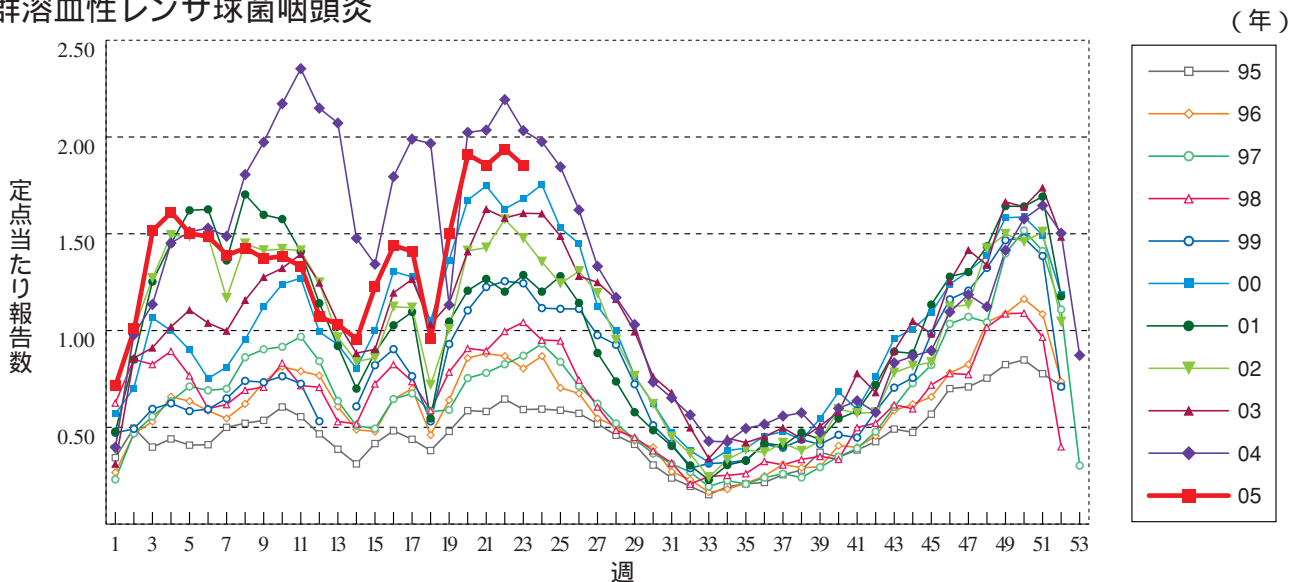
インフルエンザ



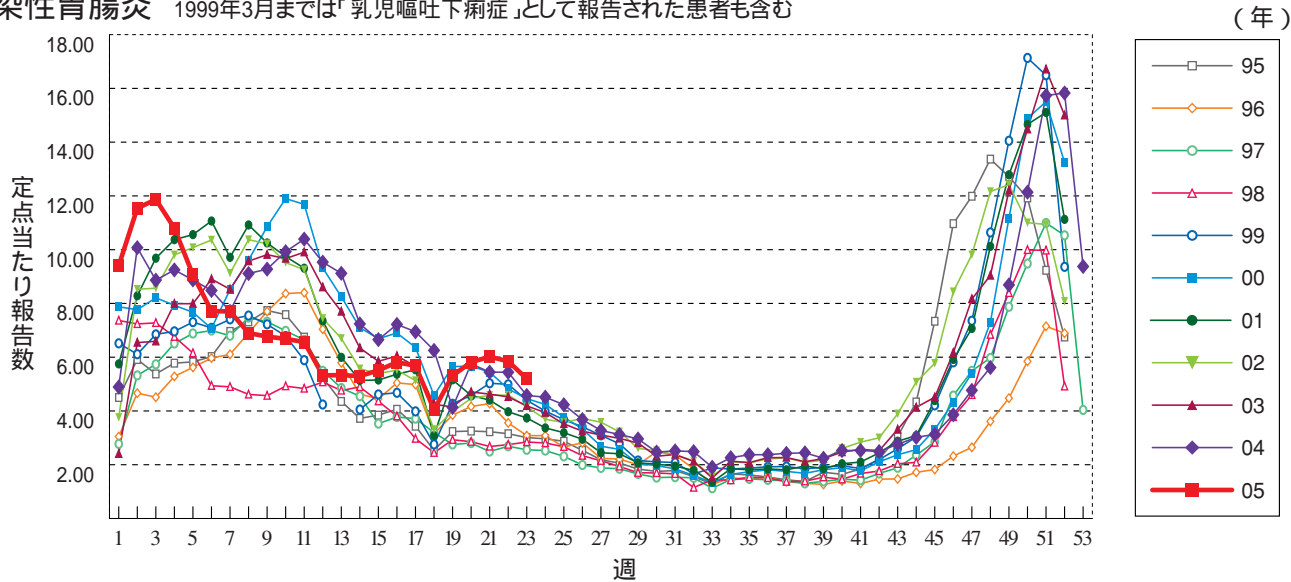
咽頭結膜熱



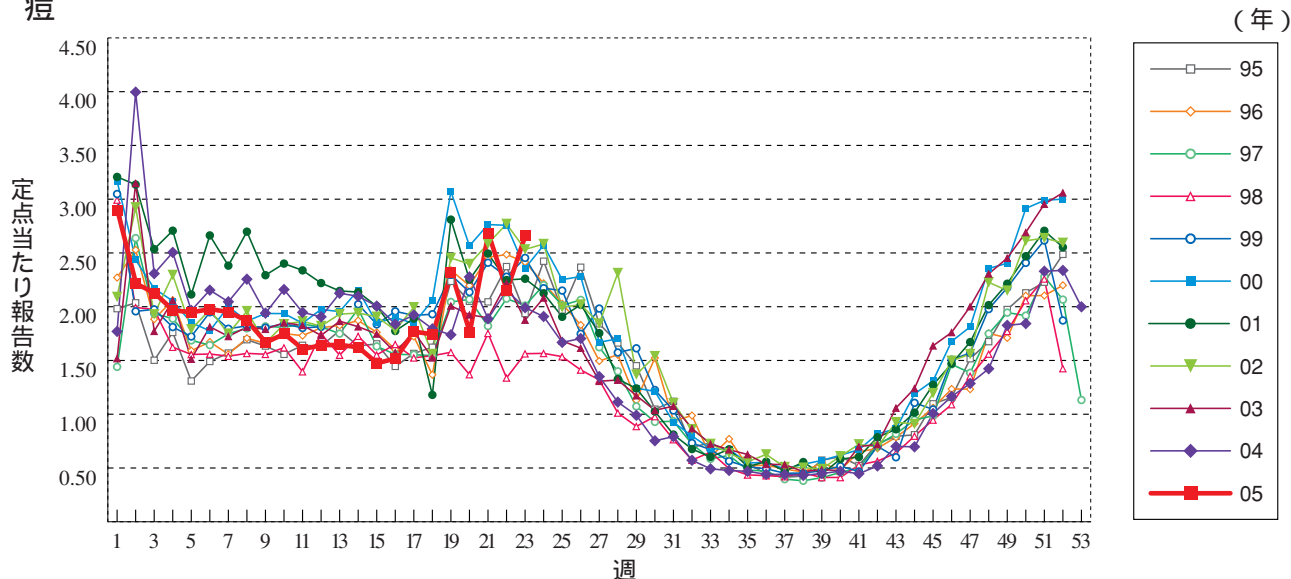
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



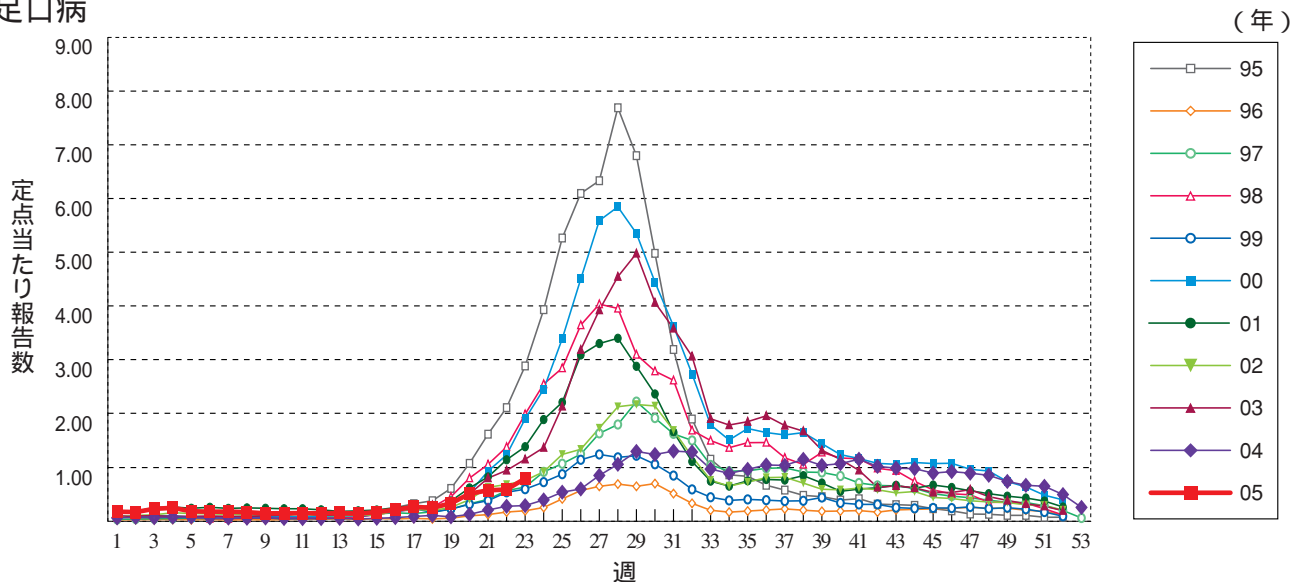
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



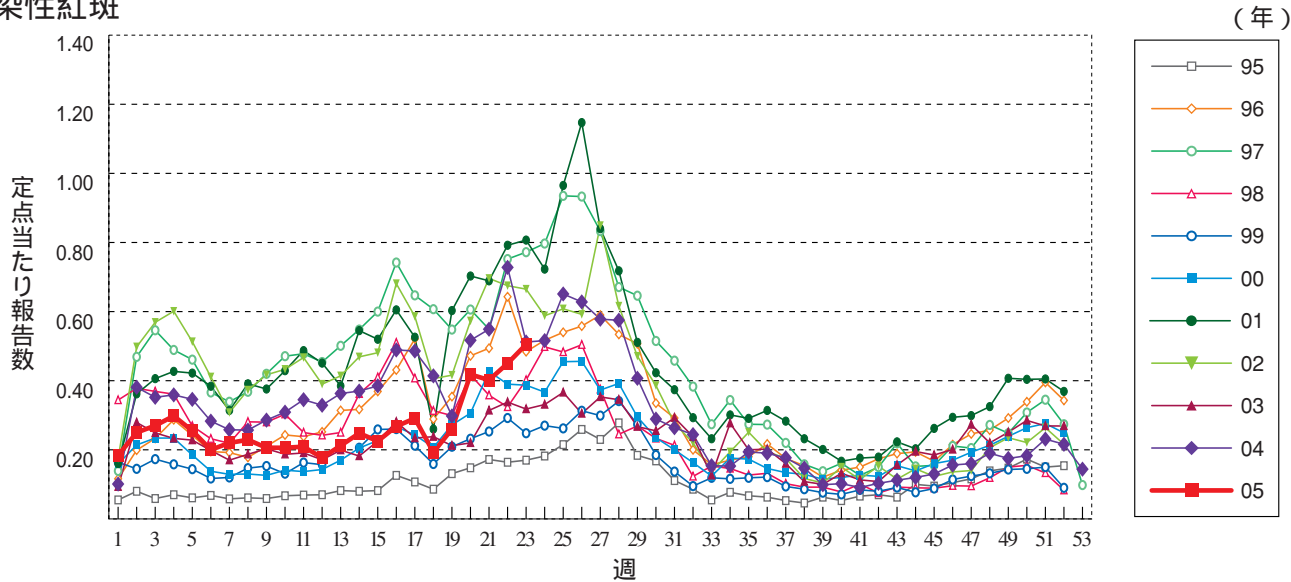
水痘



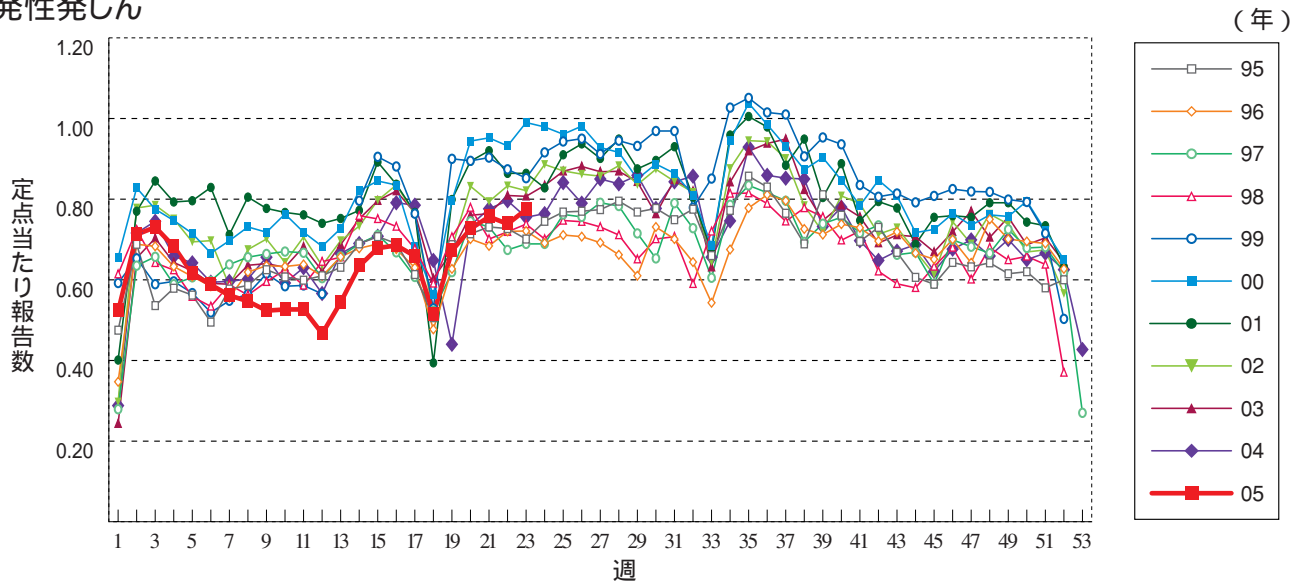
手足口病



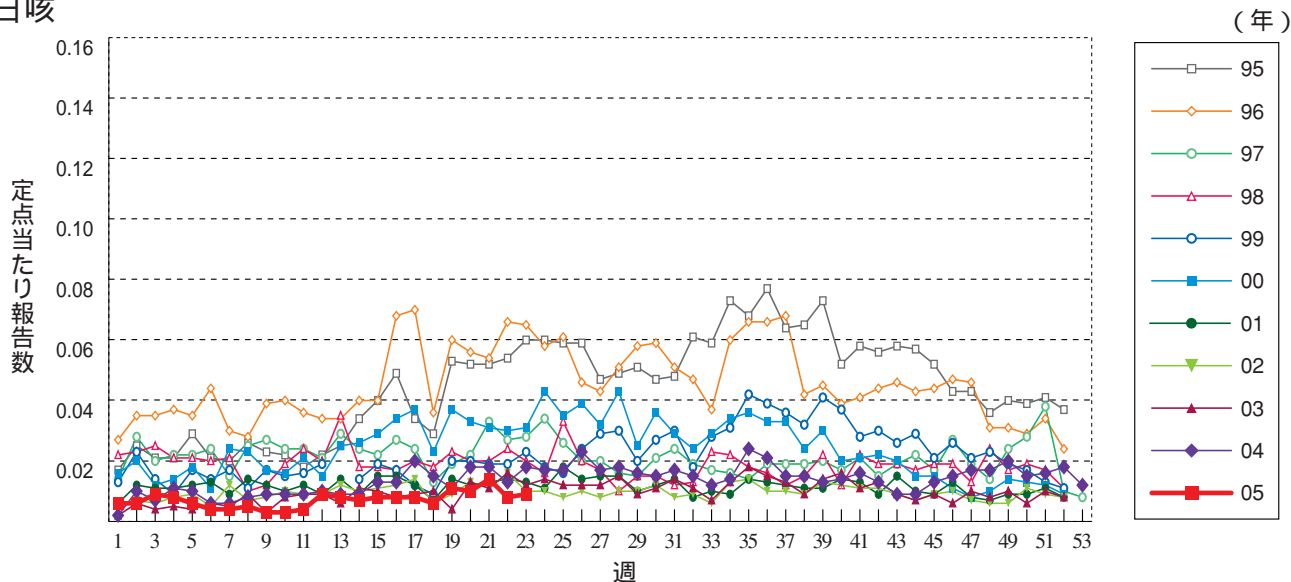
伝染性紅斑



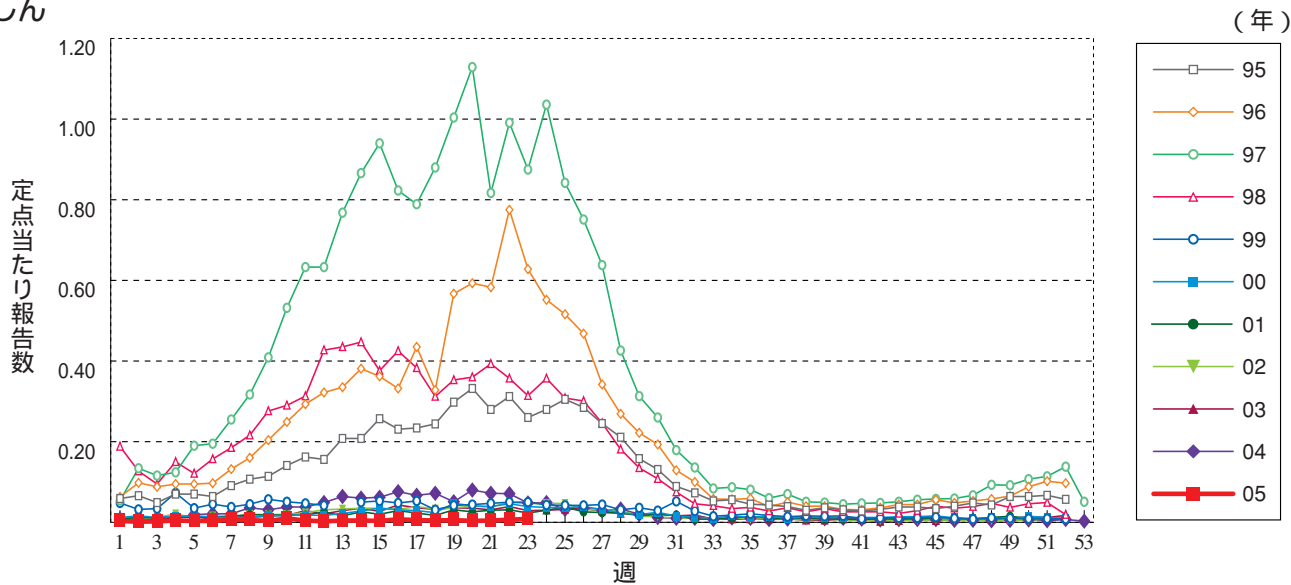
突発性発しん



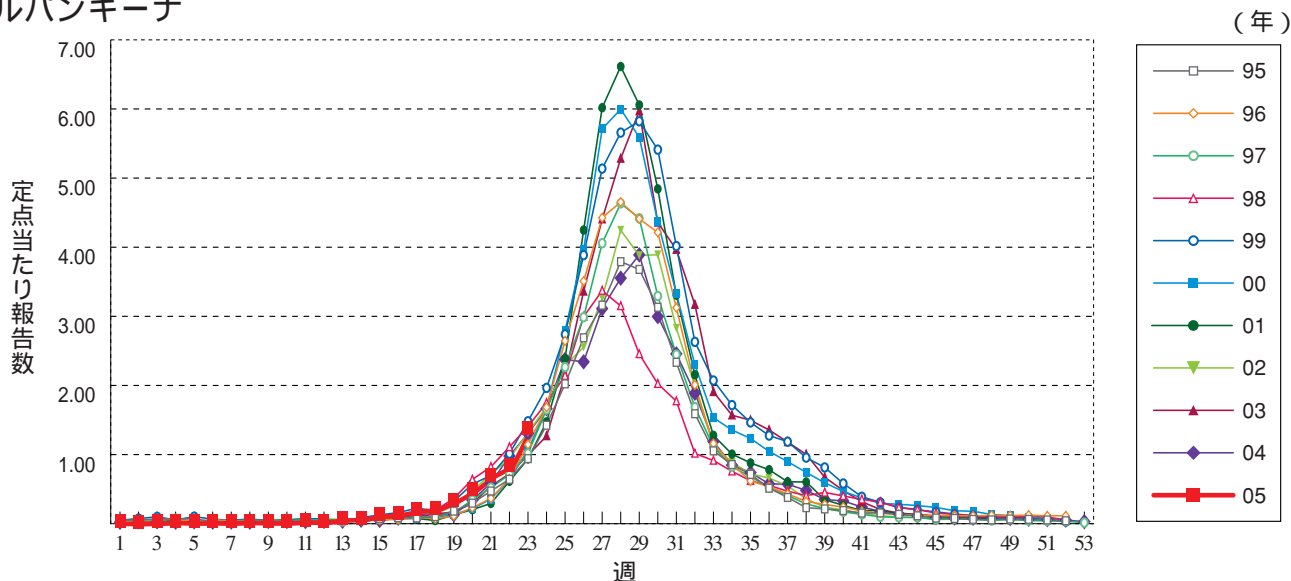
百日咳



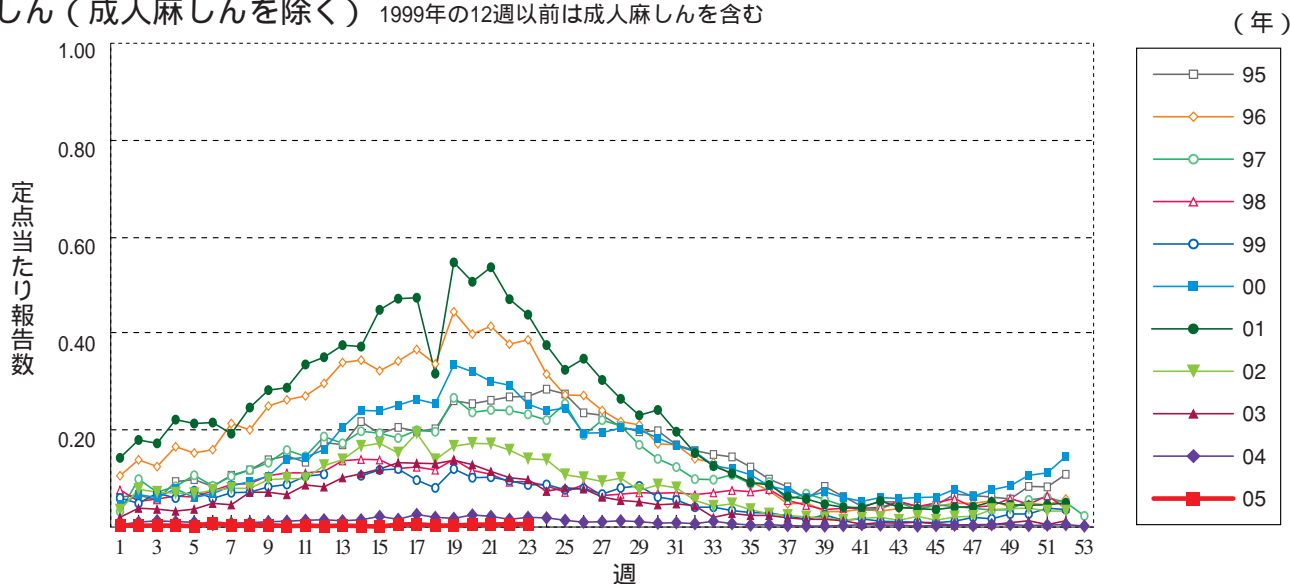
風しん



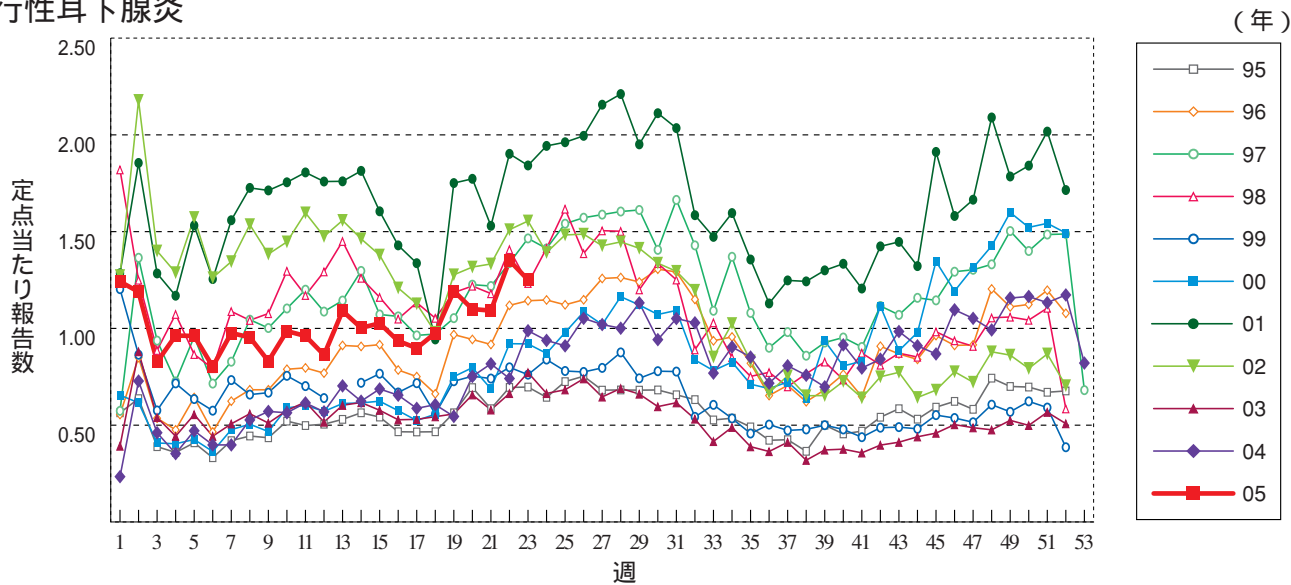
ヘルパンギーナ



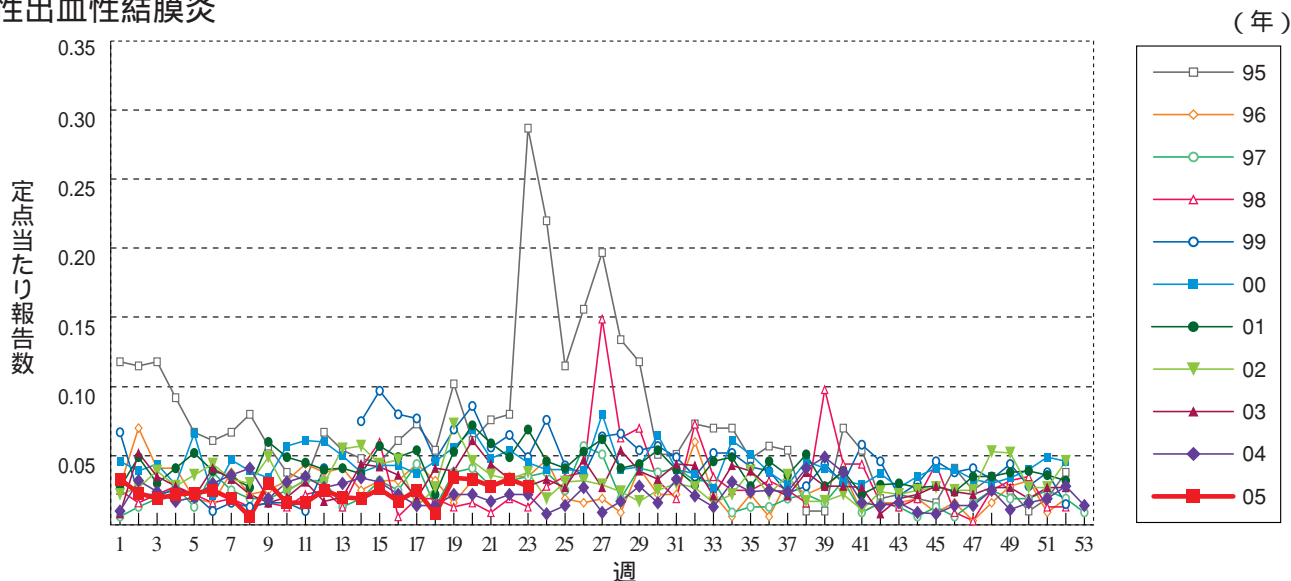
麻疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



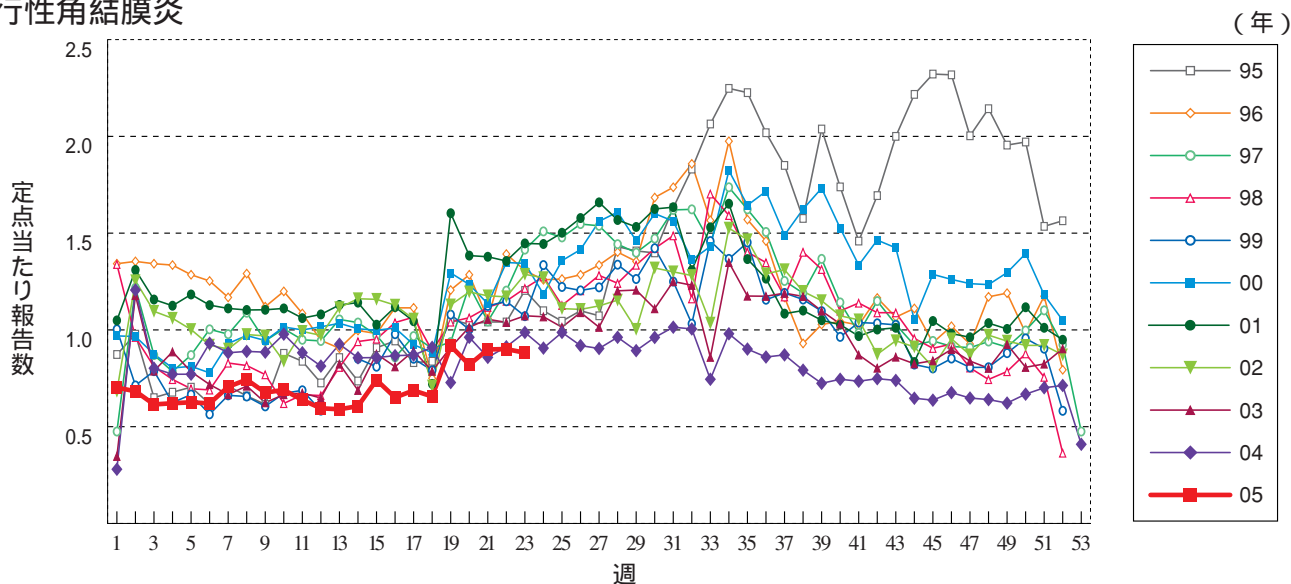
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

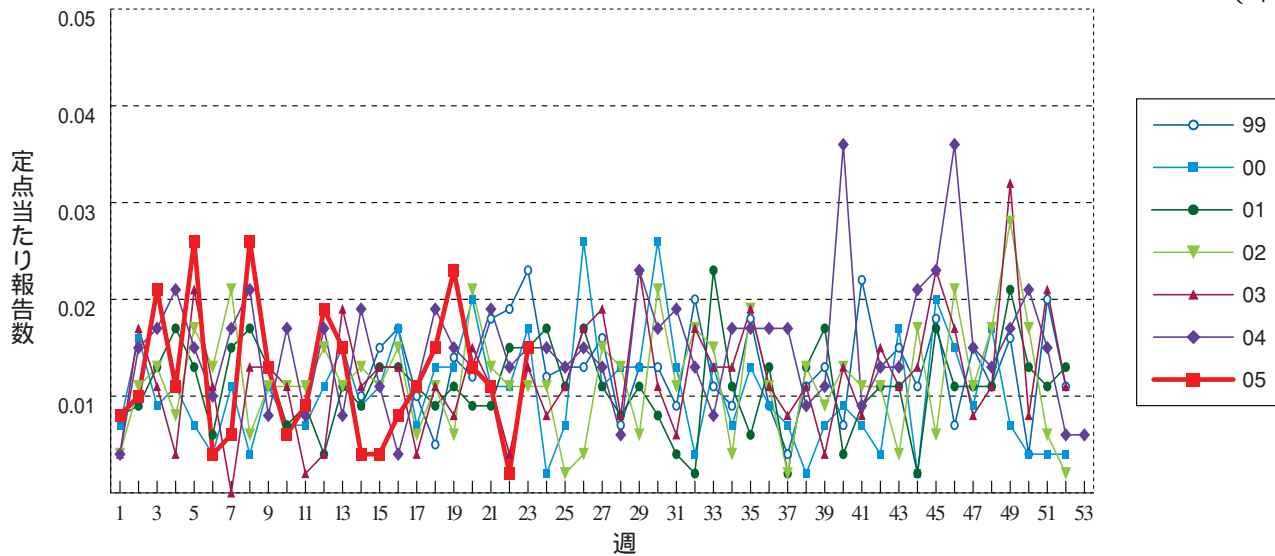


流行性角結膜炎



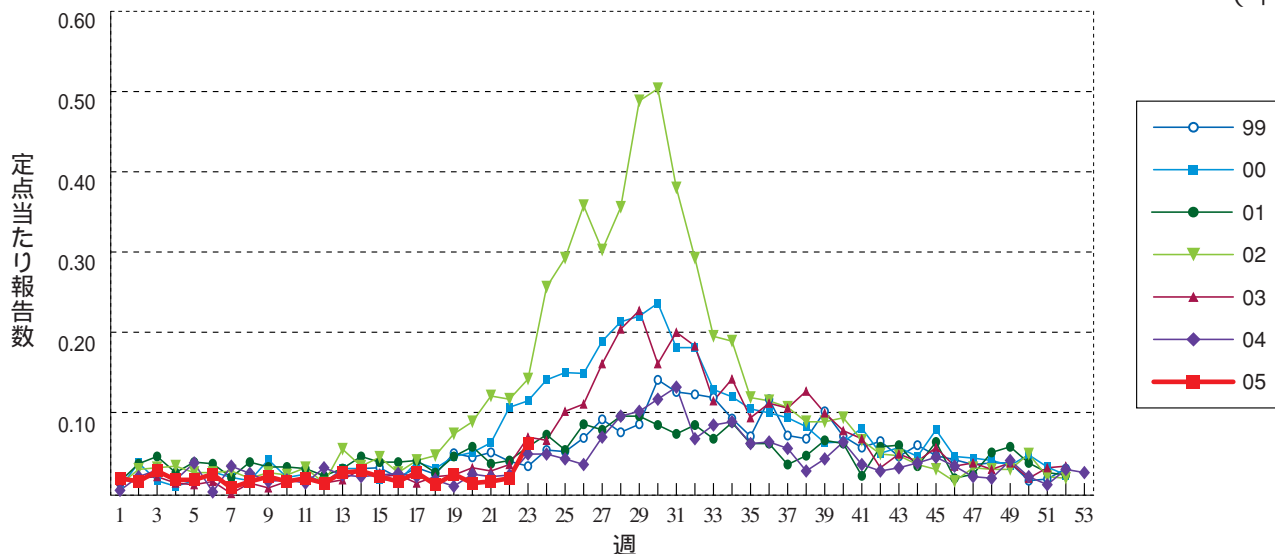
細菌性髄膜炎

(年)



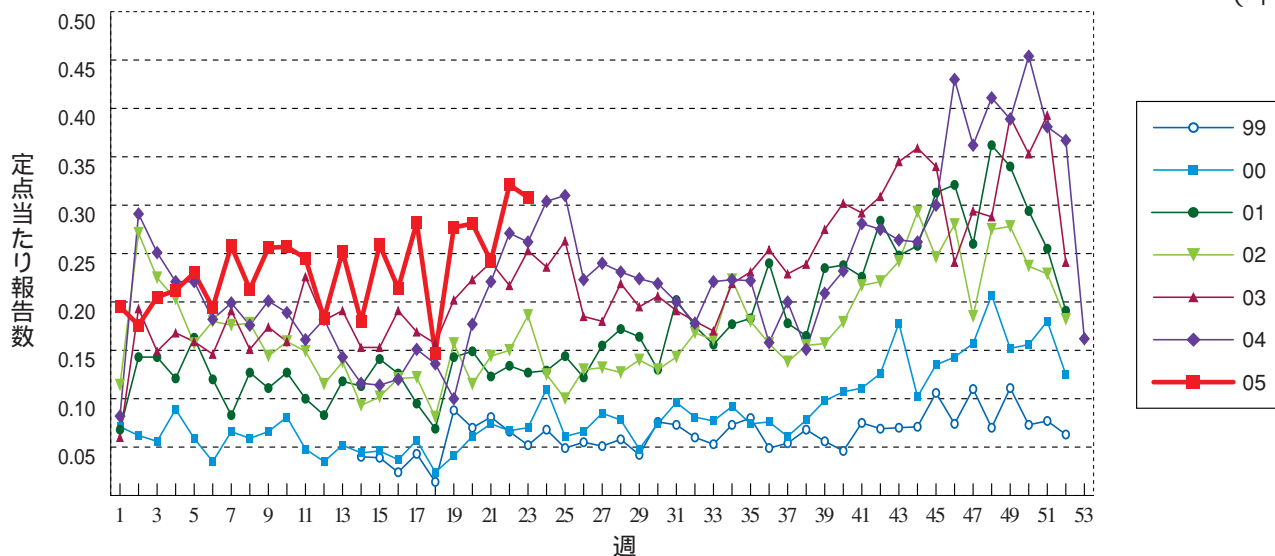
無菌性髄膜炎

(年)

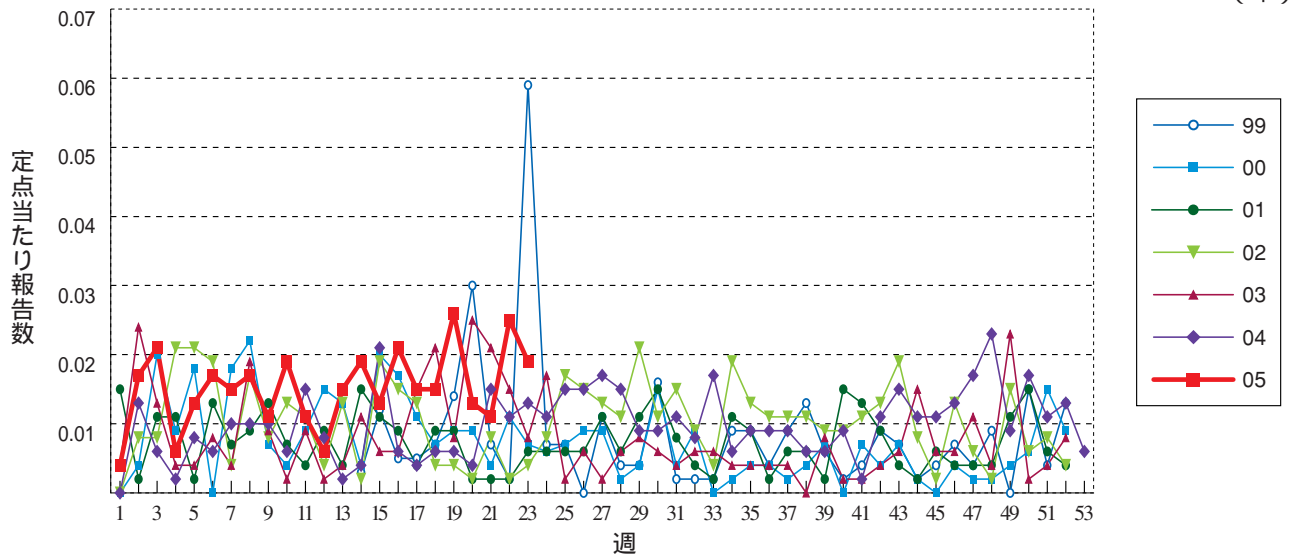


マイコプラズマ肺炎

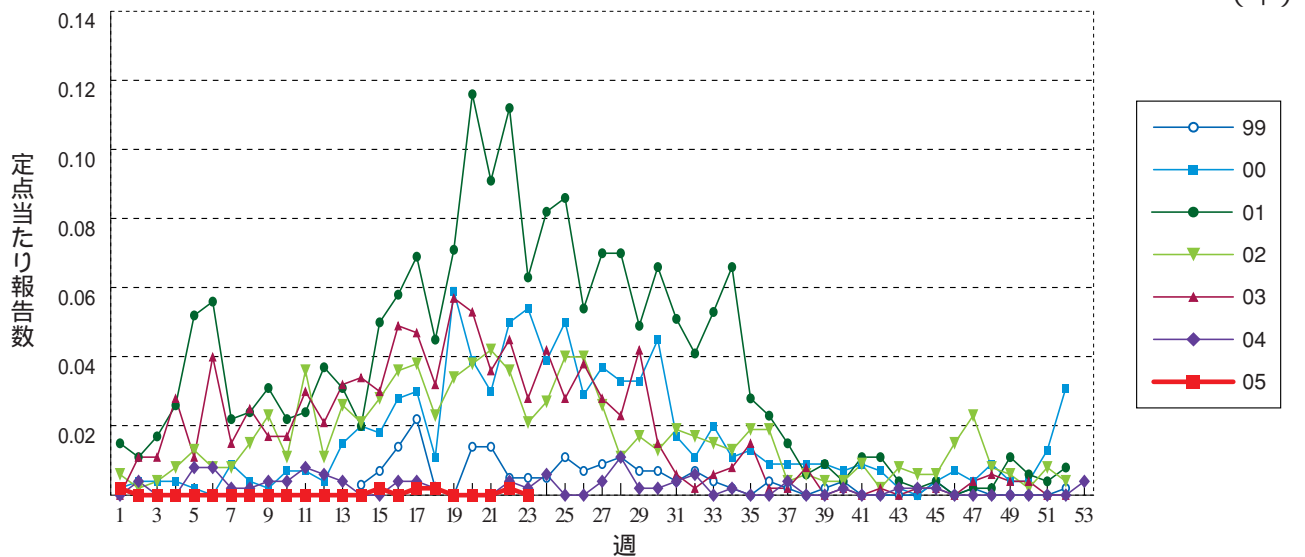
(年)



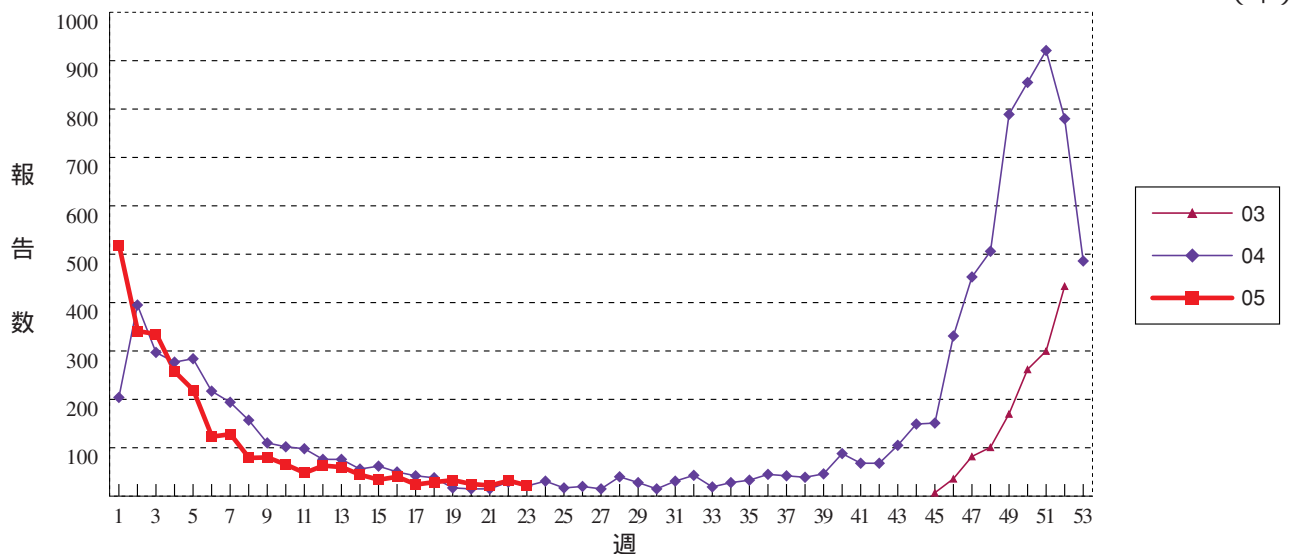
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)



成人麻しん



RSウイルス感染症 定点当たり報告数ではなく、報告数を示しています。





23週のデータ

注)表中の報告数は6月16日集計分であり、その後の報告は次週以降の累積に反映されます。表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・累積報告数、疾病・都道府県別

平成17年23週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	13	247	-	23	-	6	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	9	-	1	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	10	-	3	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	39	-	4	-	-	-	3
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	4	-	1	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	52	-	3	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	6	40	-	3	-	-	-	1
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	5	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	16	-	1	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	-	-	-	111	579	2	288	-	10	-	-	-	24	-	-	-	124
北海道	-	-	-	-	1	10	-	6	-	10	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	1	41	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	3	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
茨城県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
栃木県	-	-	-	-	-	1	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	7	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	4	22	-	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	4	14	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
東京都	-	-	-	-	3	24	-	74	-	-	-	-	-	2	-	-	-	22
神奈川県	-	-	-	-	2	15	1	21	-	-	-	-	-	1	-	-	-	6
新潟県	-	-	-	-	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
富山県	-	-	-	-	-	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	-	-	-	-	4	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	10	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	6	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	11	-	5	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1
愛知県	-	-	-	-	5	34	-	18	-	-	-	-	-	3	-	-	-	4
三重県	-	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	16	-	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	-	-	-	6	40	-	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
兵庫県	-	-	-	-	2	19	-	16	-	-	-	-	-	7	-	-	-	12
奈良県	-	-	-	-	6	12	-	3	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
鳥取県	-	-	-	-	1	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	12	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	1	22	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
広島県	-	-	-	-	1	10	-	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5
山口県	-	-	-	-	2	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	1	5	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	5	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	3	39	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
佐賀県	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長崎県	-	-	-	-	14	22	-	2	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	1	20	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	46	57	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
宮崎県	-	-	-	-	3	13	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15
鹿児島県	-	-	-	-	1	6	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
沖縄県	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	5	-	-	-	5	1	56	-	29	17	452	-	-	-	24	-	-
北海道	-	-	-	-	-	3	-	4	-	-	-	7	-	-	-	1	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	7	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	2	11	-	-	-	1	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	7	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	1	6	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-	-	1	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	1	6	-	1	-	25	-	-	-	1	-	-
東京都	-	2	-	-	-	1	-	8	-	2	3	142	-	-	-	5	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	1	19	-	-	-	5	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	18	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	28	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	3	3	62	-	-	-	3	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	2	12	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	2	1	12	-	-	-	3	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	髄膜炎菌性髄膜炎		先天性風しん症候群		炭疽		つつが虫病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		梅毒		破傷風	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	5	-	-	-	-	6	77	2	15	1	8	-	-	6	221	2	34
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	5	-	1
秋田県	-	-	-	-	-	-	2	10	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2
山形県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	1	12	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	3	-	2
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	1
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	4	-	2
東京都	-	2	-	-	-	-	-	2	-	4	-	-	-	-	1	36	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	10	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1	11	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	6	-	1
大阪府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	2	31	-	1
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	7	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	3
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	1	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	10	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	1	12	-	1
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-	-	2	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	1	4	-	-	-	7	-	4
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	バンコマイシン 耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス 肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発しんチフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	1	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	27	-	-	4	62
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	3
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
東京都	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	6
神奈川県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	3
富山県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
石川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	1	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	-	-	-	2
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
滋賀県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
大阪府	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3
兵庫県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
広島県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	重症急性 呼吸器症候群		痘 そ う		E型肝炎		ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)		A型肝炎		高病原性鳥 インフルエンザ		サ ル 痘		ニバウイルス 感染症		ポツリヌス症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	23	-	-	3	98	-	-	-	-	-	-	-	1
北海道	-	-	-	-	-	4	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	3	-	-	-	11	-	-	-	-	-	-	-	1
神奈川県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	1	-	-	1	11	-	-	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	2	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	野 兎 病		リッサウイルス 感染症		レプトスピラ症		急性脳炎		バンコマイシン耐性 黄色ブドウ球菌感染症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	2	3	110	-	-
北海道	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	11	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	10	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	1	14	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-

全数把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日: 平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、全数把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

表でみる「重症急性呼吸器症候群」以降の14の疾患は新システムでの追加疾患、および変更疾患(「乳児ボツリヌス症」「ボツリヌス症」「定点疾患「急性脳炎」全数疾患「急性脳炎」)です。「ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)」は平成14年11月に追加された疾患です。

旧システムにおける「ウイルス性肝炎」に含まれていた「E型肝炎」「A型肝炎」が独立した疾患となり、新システムにおける「ウイルス性肝炎」はE型肝炎、A型肝炎を除く肝炎となります。

注)表の最後の注釈を参照して下さい。

報告数・定点当り報告数、疾病・都道府県別

平成17年23週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	644	0.14	1623	0.53	5640	1.85	15842	5.20	8119	2.66	2423	0.80	1540	0.51	2364	0.78	26	0.01
北海道	92	0.40	52	0.36	368	2.54	395	2.72	351	2.42	30	0.21	19	0.13	49	0.34	1	0.01
青森県	4	0.06	9	0.21	36	0.86	86	2.05	114	2.71	73	1.74	29	0.69	24	0.57	-	-
岩手県	4	0.06	12	0.32	26	0.70	131	3.54	66	1.78	13	0.35	8	0.22	17	0.46	-	-
宮城県	23	0.23	20	0.33	91	1.49	456	7.48	149	2.44	42	0.69	39	0.64	66	1.08	-	-
秋田県	4	0.07	37	1.06	35	1.00	148	4.23	71	2.03	7	0.20	26	0.74	16	0.46	-	-
山形県	4	0.08	24	0.80	77	2.57	151	5.03	88	2.93	6	0.20	7	0.23	28	0.93	-	-
福島県	2	0.03	24	0.50	42	0.88	349	7.27	164	3.42	80	1.67	59	1.23	32	0.67	-	-
茨城県	16	0.14	14	0.19	196	2.65	222	3.00	166	2.24	24	0.32	31	0.42	28	0.38	-	-
栃木県	4	0.06	18	0.39	71	1.54	150	3.26	108	2.35	23	0.50	12	0.26	26	0.57	2	0.04
群馬県	3	0.03	12	0.19	90	1.45	350	5.65	215	3.47	49	0.79	9	0.15	39	0.63	-	-
埼玉県	5	0.02	126	0.77	407	2.50	1168	7.17	515	3.16	115	0.71	101	0.62	155	0.95	2	0.01
千葉県	7	0.03	48	0.37	284	2.17	619	4.73	451	3.44	74	0.56	90	0.69	93	0.71	1	0.01
東京都	6	0.03	92	0.65	240	1.69	745	5.25	264	1.86	89	0.63	66	0.46	105	0.74	-	-
神奈川県	2	0.01	96	0.47	427	2.07	1191	5.78	549	2.67	145	0.70	207	1.00	202	0.98	2	0.01
新潟県	2	0.02	100	1.67	144	2.40	391	6.52	192	3.20	25	0.42	16	0.27	43	0.72	-	-
富山県	-	-	7	0.24	46	1.59	161	5.55	117	4.03	13	0.45	20	0.69	23	0.79	-	-
石川県	3	0.06	31	1.07	83	2.86	153	5.28	83	2.86	6	0.21	9	0.31	16	0.55	1	0.03
福井県	9	0.28	20	0.91	58	2.64	200	9.09	100	4.55	3	0.14	5	0.23	12	0.55	-	-
山梨県	1	0.02	4	0.16	37	1.48	58	2.32	43	1.72	5	0.20	19	0.76	9	0.36	-	-
長野県	33	0.38	50	0.91	91	1.65	311	5.65	219	3.98	19	0.35	22	0.40	49	0.89	-	-
岐阜県	3	0.04	26	0.49	81	1.53	111	2.09	198	3.74	17	0.32	12	0.23	26	0.49	-	-
静岡県	-	-	44	0.51	146	1.70	555	6.45	288	3.35	87	1.01	42	0.49	74	0.86	1	0.01
愛知県	6	0.03	103	0.57	349	1.92	783	4.30	554	3.04	138	0.76	37	0.20	134	0.74	-	-
三重県	9	0.12	21	0.47	87	1.93	323	7.18	147	3.27	39	0.87	15	0.33	54	1.20	1	0.02
滋賀県	24	0.47	16	0.48	20	0.61	113	3.42	114	3.45	7	0.21	3	0.09	19	0.58	1	0.03
京都府	10	0.08	12	0.16	90	1.20	355	4.73	157	2.09	19	0.25	32	0.43	47	0.63	-	-
大阪府	21	0.07	80	0.40	354	1.79	1086	5.48	374	1.89	79	0.40	75	0.38	152	0.77	3	0.02
兵庫県	23	0.12	86	0.67	257	2.01	1005	7.85	360	2.81	57	0.45	59	0.46	86	0.67	-	-
奈良県	-	-	25	0.74	67	1.97	184	5.41	64	1.88	38	1.12	14	0.41	11	0.32	-	-
和歌山県	2	0.04	14	0.47	62	2.07	185	6.17	69	2.30	13	0.43	12	0.40	26	0.87	-	-
鳥取県	26	0.90	1	0.05	33	1.74	127	6.68	55	2.89	55	2.89	7	0.37	16	0.84	-	-
島根県	12	0.32	17	0.74	19	0.83	117	5.09	97	4.22	15	0.65	9	0.39	16	0.70	-	-
岡山県	30	0.36	17	0.31	57	1.06	246	4.56	103	1.91	9	0.17	12	0.22	30	0.56	3	0.06
広島県	79	0.66	44	0.59	83	1.11	391	5.21	157	2.09	246	3.28	28	0.37	58	0.77	3	0.04
山口県	2	0.03	37	0.76	155	3.16	320	6.53	114	2.33	41	0.84	14	0.29	57	1.16	-	-
徳島県	1	0.03	6	0.26	42	1.83	87	3.78	47	2.04	33	1.43	1	0.04	13	0.57	-	-
香川県	1	0.02	7	0.22	53	1.66	151	4.72	48	1.50	15	0.47	20	0.63	19	0.59	1	0.03
愛媛県	5	0.08	14	0.38	61	1.65	228	6.16	44	1.19	27	0.73	1	0.03	52	1.41	1	0.03
高知県	-	-	10	0.32	53	1.71	117	3.77	68	2.19	17	0.55	2	0.06	21	0.68	1	0.03
福岡県	34	0.17	133	1.11	282	2.35	700	5.83	331	2.76	90	0.75	200	1.67	146	1.22	1	0.01
佐賀県	9	0.23	14	0.61	51	2.22	75	3.26	74	3.22	15	0.65	22	0.96	32	1.39	-	-
長崎県	-	-	20	0.45	55	1.25	142	3.23	131	2.98	19	0.43	26	0.59	32	0.73	1	0.02
熊本県	1	0.01	26	0.54	108	2.25	207	4.31	92	1.92	96	2.00	10	0.21	54	1.13	-	-
大分県	-	-	19	0.53	66	1.83	302	8.39	125	3.47	23	0.64	23	0.64	47	1.31	-	-
宮崎県	8	0.13	19	0.51	86	2.32	275	7.43	68	1.84	14	0.38	9	0.24	52	1.41	-	-
鹿児島県	10	0.11	14	0.25	62	1.11	211	3.77	174	3.11	32	0.57	59	1.05	36	0.64	-	-
沖縄県	104	1.79	2	0.06	12	0.35	11	0.32	41	1.21	341	10.03	2	0.06	22	0.65	-	-

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	風しん		ヘルパンギーナ		麻しん (成人麻しんを除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ 肺炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	31	0.01	4222	1.39	18	0.01	3812	1.25	18	0.03	570	0.88	7	0.01	30	0.06	145	0.31
北海道	-	-	63	0.43	1	0.01	124	0.86	-	-	13	0.45	-	-	-	-	3	0.13
青森県	1	0.02	8	0.19	-	-	26	0.62	-	-	2	0.18	-	-	-	-	2	0.33
岩手県	-	-	23	0.62	-	-	17	0.46	-	-	24	2.00	-	-	-	-	9	0.45
宮城県	-	-	27	0.44	-	-	48	0.79	2	0.17	7	0.58	-	-	-	-	11	0.92
秋田県	-	-	14	0.40	-	-	18	0.51	-	-	1	0.14	-	-	-	-	2	0.25
山形県	-	-	88	2.93	4	0.13	40	1.33	-	-	3	0.38	-	-	1	0.10	3	0.30
福島県	-	-	60	1.25	-	-	52	1.08	-	-	27	2.25	-	-	-	-	6	0.86
茨城県	1	0.01	43	0.58	-	-	99	1.34	1	0.06	34	2.13	-	-	-	-	7	0.64
栃木県	-	-	63	1.37	2	0.04	27	0.59	-	-	20	1.67	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	191	3.08	-	-	60	0.97	-	-	13	0.93	-	-	2	0.20	13	1.30
埼玉県	5	0.03	245	1.50	2	0.01	232	1.42	1	0.03	41	1.03	-	-	-	-	3	0.33
千葉県	4	0.03	132	1.01	1	0.01	196	1.50	2	0.06	27	0.77	-	-	-	-	2	0.22
東京都	3	0.02	240	1.69	3	0.02	144	1.01	-	-	11	0.79	-	-	1	0.04	6	0.24
神奈川県	2	0.01	194	0.94	-	-	302	1.47	1	0.02	46	1.10	-	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	31	0.52	-	-	59	0.98	-	-	7	0.78	-	-	-	-	4	0.31
富山県	-	-	220	7.59	1	0.03	66	2.28	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	12	0.41	-	-	78	2.69	-	-	4	0.57	-	-	-	-	8	1.60
福井県	-	-	25	1.14	-	-	79	3.59	-	-	-	-	1	0.17	1	0.17	1	0.17
山梨県	-	-	3	0.12	-	-	9	0.36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	3	0.05	38	0.69	-	-	86	1.56	1	0.09	14	1.27	1	0.09	1	0.09	2	0.18
岐阜県	-	-	223	4.21	-	-	76	1.43	-	-	9	0.75	-	-	-	-	-	-
静岡県	-	-	163	1.90	-	-	137	1.59	-	-	25	1.25	-	-	-	-	6	0.60
愛知県	1	0.01	412	2.26	-	-	225	1.24	-	-	40	1.14	-	-	-	-	8	0.62
三重県	-	-	251	5.58	-	-	56	1.24	-	-	2	0.17	-	-	1	0.11	5	0.56
滋賀県	2	0.06	23	0.70	-	-	35	1.06	-	-	2	0.29	-	-	3	0.43	-	-
京都府	-	-	45	0.60	-	-	64	0.85	-	-	7	0.39	-	-	-	-	-	-
大阪府	5	0.03	222	1.12	2	0.01	170	0.86	3	0.06	16	0.31	4	0.29	1	0.07	7	0.50
兵庫県	2	0.02	100	0.78	-	-	109	0.85	-	-	25	0.71	-	-	1	0.07	-	-
奈良県	-	-	58	1.71	-	-	68	2.00	-	-	5	0.56	1	0.17	2	0.33	-	-
和歌山県	-	-	65	2.17	-	-	26	0.87	-	-	-	-	-	-	1	0.09	3	0.27
鳥取県	-	-	6	0.32	-	-	6	0.32	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	-	-
島根県	-	-	12	0.52	-	-	21	0.91	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	14	0.26	-	-	39	0.72	-	-	7	0.58	-	-	-	-	-	-
広島県	-	-	20	0.27	-	-	175	2.33	-	-	25	1.25	-	-	5	0.26	5	0.26
山口県	-	-	5	0.10	-	-	32	0.65	-	-	4	0.44	-	-	-	-	17	1.89
徳島県	-	-	48	2.09	-	-	8	0.35	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	14	0.44	1	0.03	54	1.69	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	134	3.62	-	-	72	1.95	-	-	16	2.00	-	-	1	0.17	4	0.67
高知県	-	-	35	1.13	-	-	14	0.45	-	-	3	1.00	-	-	-	-	2	0.29
福岡県	-	-	167	1.39	-	-	247	2.06	3	0.12	16	0.62	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	67	2.91	-	-	52	2.26	-	-	1	0.25	-	-	4	0.67	1	0.17
長崎県	-	-	53	1.20	1	0.02	71	1.61	3	0.38	10	1.25	-	-	-	-	1	0.08
熊本県	-	-	174	3.63	-	-	93	1.94	1	0.11	15	1.67	-	-	2	0.13	1	0.07
大分県	-	-	70	1.94	-	-	28	0.78	-	-	4	0.80	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	73	1.97	-	-	51	1.38	-	-	15	3.75	-	-	1	0.14	1	0.14
鹿児島県	-	-	46	0.82	-	-	55	0.98	-	-	4	0.57	-	-	1	0.08	1	0.08
沖縄県	1	0.03	2	0.06	-	-	66	1.94	-	-	12	1.20	-	-	-	-	1	0.14

報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成17年23週

	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻しん		RSウイルス 感染症 報告数
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	
総 数	9	0.02	-	-	22
北海道	-	-	-	-	1
青森県	-	-	-	-	...
岩手県	-	-	-	-	...
宮城県	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-
山形県	1	0.10	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	...
栃木県	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	...
埼玉県	-	-	-	-	1
千葉県	-	-	-	-	-
東京都	1	0.04	-	-	5
神奈川県	-	-	-	-	-
新潟県	-	-	-	-	...
富山県	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-
山梨県	4	0.40	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	...
静岡県	-	-	-	-	...
愛知県	-	-	-	-	1
三重県	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	3
京都府	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	-	-	4
奈良県	-	-	-	-	...
和歌山県	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	...
広島県	-	-	-	-	2
山口県	-	-	-	-	1
徳島県	-	-	-	-	...
香川県	-	-	-	-	...
愛媛県	-	-	-	-	1
高知県	-	-	-	-	...
福岡県	1	0.07	-	-	...
佐賀県	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	...
熊本県	-	-	-	-	...
大分県	-	-	-	-	...
宮崎県	-	-	-	-	...
鹿児島県	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	...

定点把握疾患表注釈

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」の改正(施行日:平成15年11月5日、IDWR週報2003年43号参照)により、定点把握疾患の対象疾患、分類、疾患名の記載方法が一部変更されました。

改正により「RSウイルス感染症」が追加されましたが、ゼロ報告も含めて報告自体がなされていない都道府県(...)が多く見られ、その報告はまだ十分ではありません。そのため、「感染症週報」の情報還元としては、報告数のみの掲載とします。宜しく御理解ください。

獣医師が届出を行う感染症と対象動物

平成16年10月1日より感染症法に基づく獣医師が届出を行う感染症と対象動物が追加されました。
*病原体がSARSコロナウイルスであるものに限る。

報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成17年23週

	エボラ出血熱		マールブルグ病		ペスト		重症急性呼吸器症候群*						細菌性赤痢		ウエストナイル熱		エキノコックス症	
	サル		サル		プレーリードッグ	イタチアナグマ		タヌキ		ハクビシン		サル		鳥類		犬		
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	-	-	-	2	
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

感染症週報 第7巻 第23号 平成17年6月24日発行
発行：国立感染症研究所
厚生労働省健康局結核感染症課
厚生労働省大臣官房統計情報部
事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
T E L : 03-5285-1111
F A X : 03-5285-1129
U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
< 国立感染症研究所 感染症情報センター >
<http://www.mhlw.go.jp/>
< 厚生労働省 >
<http://www.forth.go.jp/>
< 旅行者のための海外感染症情報(厚生労働省検疫所) >

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。